支那を繞り政治、經濟
竝に宣傳に活躍する

上海猶太銘鑑

（附）英國及び米國政府を
操縱する猶太色彩

國際政經學會

東京市麹町區内幸町幸ビル
國際政經學會

目次

支那を繞り政治、經濟 竝に宣傳に活躍する

上海猶太銘鑑

【1】アーノルド C. H. Arnhold



アーノルド

住所　上海南京路一號沙遜高樓
營業所　サッスーン・ハウス內
商號　Arnhold & Company Ltd.

和蘭系猶太人にしてロッテルダム港に生る。母はブリストルに生れたる和蘭人の猶太にて、現在アーノルド家は倫敦に住す。

アーノルド商會の事業次の如し。

營業課目　棉花輸出入機械竝に請負工事
代理店　Employers Liobility Assur Corp.
同　South British Marine Sus. Co.
同　Marchant Marine Jus. Co.

同　Himalaya Assurance Ltd.

同　Vickers Electrick Export Co.

同　Hiury Simons Ltd.

同　Ruston & Harnsby Ltd.

同　Aaron Sassoon Gubbay Co.

管理　上海市街乘合自動車會社

同　チヤイナ輸出入木材商會

同　ニューインジニア・シッピング會社

同　西蘭絹布會社

同　カセー土地賣買信託會社

同　カセーホテル

同　サッスーン・ステーブル

同　光華石油會社サッスーン業務

アーノルド商會の陣容次の如し。

社長　C・H・アーノルド　C. H. Arnhold

總支配人　C・J・ミーゲル　C. J. Meager

重役	H・E・アーノルド	H. E. Arnhold
同	F・R・デヴイー	F. R. Davey
同	A・E・マーカール	A. E. Marker
同	H・M・マーン	H. M. Mann
輸出部主任	W・ヒル	W. Hill
輸入部主任	H・ブース	H. Booth
棉花部主任	シヤツトルウオース	C. Shutleworth
五金部主任	ホルヅミユーラー	P. Holzmueller
機械土木	ロス	V. Rose
自動車主任	ホルゲート	H. R. Holgate
電氣部主任	リー	K. D. Lee
織物部主任	バヤース	A. F. Buyers
飛行部主任	スオツフアー	F. A. Swoffer
雑貨部主任	ホエケル	B. Hoeckel
建築材料主任	ベレンツ	J. Berents
財産管理部主任	バラクロフ	E. S. Barraclugh

船舶部主任　オ・ネール　P. T. O'nail
會計部主任　ブライン　A. R. Brayn
電信部主任　ガンター孃　J. H. Gunter (Miss)
通信部主任　セケイラ　C. M. Sequria
日本雜貨部員　石井　I. Ishii
其の他普通外人社員　二十名
中國人雇員　六十五名
總計（二十二名主任以上を加へて）　百〇七人

アーノルド氏はサッスーン財團傍系の大會社にして猶太人資本家流の商買型を破り米國式の管理を行ひ明朗さのある商會である。現在自己の本業の外に十幾會社の代理店を有し日本人主任を置て日本品の取扱ひ賣込みに外交せしめ又蘇聯品の上海市場販賣をなす。サッスーン商會の事務を管理し上海市電車會社重役、人力車會社經營の資本投下竝に乘合自動車會社を經營する等何でも手を出す手廣き營業振りである。

同社の營業成績は頗る良好にして株主配當二割五分と云ふ成績振りを示して居る。勿論同社の金融資金はサッスーン財團が背景をなすと雖も一面に於てアーノルド氏は多年共同租界局市參事會議長の權職に就き腹心の秘書課長ジョンスをして市政を意のままに操縦し地位と職權を自己利

益に利用して金儲けに飽くなき辣腕を揮ひ爲めに工部局機關は彼の事業とサッスーン財團擁護の爲めの存在の觀あり。斯くて上海に扶殖せる彼等の勢力と搾取網は牢固として他社の拔く能はざる根據を有し居れり。故にアーノルド氏が本年の工部局市參事議長の職を米國の代表者フランクリン氏に讓りて本月二十七日英本國に休暇歸省に對し工部局義勇隊は波止場に樂隊にて閱兵式を行つて見送りを盛にする等總ての工部局機關は彼等の爲めに自由に有效に利用せられつつある事を物語るものである。

同社は又共同租界西區エキステンションに資本金二千五百萬弗の土地會社を創立して競馬場、犬競爭場、ダンスホールの經營を劃策し又自己の管理する乘合自動車線の延長、市街住宅の經營等々總て土地投資に伴ふ利權を獲得し特別行政區を創設して工部局延長勢力地帶に置き工部局警察部より副總監ヤング氏を配して彼等事業擁護を企圖しつつあり。目下關係國日英支三國間に交涉中なる上海特別區問題を背面より牛耳りつつあるなり。

【2】アブラハム D. E. J. Abraham

住　宅　上海佛蘭西租界アベニユーフオーチ八一〇號

營業所　共同租界北京路八十三號

商　號　益豐洋行（アブラハム商會）



アブラハム父



アブラハム長男

アラブ系英國猶太人にして本年六十七歳白髪の老人なり氏の妻女はイラキアン猶太人にして上海駐在イラク總領事は彼女の遠縁に當る。

アブラハム氏は實兄と共同にて上海共同租界北京路八十三號にアブラハム商會を經營し煙草原料及び輸出入商を營む外に香港の豪商イエス・アブラハムビルブローカー兼金銀地金商の上海代理店を兼ねて居る、店員は全部アブラハム家一族の者を集め秘書格のコーヘン氏は主として金銀地金の業務を擔任す、實兄エス・アブラハムは先年死亡し未亡人其の權利を繼承し居れり。

氏は本職の他に猶太教會の監督ブナイ・ブライス結社の幹部、猶太教會堂圖書館管理を兼任して居るが性格學者肌の紳士にして政治法律に通じて居る。

アブラハム氏は以前上海猶太教の民間治安判事を勤めた事あり故ハードン翁の死後遺産爭ひの裁判が英國總領事館法廷に於て開審せられたる時特に陪席判事の資格にて出席せる事ありハードン未亡人（支那人の女）は異宗徒である事を主張して同家の宗教關係の財産及び圖書等はハード

ン家の緣者（パレスタインに居住する）に引渡すを要求し英國法律全能を以て猶太教徒を判決する事を拒否し遂にこの裁判はアブラハム陪審判事の主張に贊成したと云ふ記錄を持つて居る。

アブラハム氏は千九百三十年以來同三十四年迄上海 Bnai Brith 結社のプレシデントに就任し猶太教徒の特權アーロンの待遇を受け同族間に尊敬せられて居る。

氏は特に新興日本勢力に對する興味を有する人にて滿洲建國に關する新聞雜誌の記事を切拔帳に集めて研究して居る故エズラ氏の言によれば

『アブラハム氏は滿洲建國と猶太の經濟投資猶太移民の滿洲移住に關して或る計畫を立て協會の會合に於ても常に滿洲開發に就て意見を述べて居た』

と。

【3】アシケナジ D. Z. Ashkenazi



アシケナジ

住所　上海佛租界ポールヘンリー街七號

職業　宗教家

千八百八十三年エルサレムに生る。

ルーマニア系猶太人なり現在上海の猶太寺院オーヘルモーシに奉職す同族社會に於て著名の士なり。

上海ユデヤクラブの役員を勤む。

アシケナジ氏は現在上海のオーヘル・モーシ寺院に勤めつつある熱烈なる宗教家にして同族人間に尊敬せられ上海猶太倶樂部は昨年七月猶太人のサバッス祭を機會にアシケナジ氏に對する社會奉仕感謝式を擧行し同族人の義捐金一千磅を寄贈し倶樂部の理事長ブロッチ氏は次の如き表彰の辭を述べたり。

「アシケナジ氏は熱烈なる同宗派の講法士にして、氏の過去に於ける民族擁護と神の指示する我等の生活の爲めに又我等の經濟生活保證の爲めに Ort の組織を、吾等の健康保持の爲めに Oze の使命を帶びて、東洋猶太社會の爲めに懸命に努力せられ、本年四月倫敦本部を代表して來滬せられたるメレッシュ・ラビッシと共に完成し、又イデッシュ文學（ヘブライ語と中古獨逸語との混淆語）の爲めに働き、散文詩劇の研究と出版に獻身的貢獻あり、已に倫敦PEN倶樂部（國際文學作者團體）より名譽ある表彰を受けられたり。其の他各地に散在する猶太人の生活狀態を調査して猶太百科全書に貢獻せられる等、幾多の貴き研究を遂げて猶太文明に功勞ありたり、亦兒童教育に關してはポーランド、ルーマニアの兒童教科書の資料を編纂して教育界に盡されたり」。


アシケナジ夫人

アシケナジ氏の猶太社會に奉仕せられたるは以上の諸事業に止まらず歐洲大戰に參加して勳功ありたる猶太十五聯隊の參戰記を著述して記念する等同族民間に尊敬を拂はれて居る。

寫眞はアシケナジ氏の夫人にて青島に閑居してイデッシュ文學の研究をせられて居る。

【4】ジョシュア・アシケンナルジ　Joushua Ashkennargi



ジョシュア　アシケンナルジ

住所　北滿ハルピン市

職務　雜誌記者と新聞通信

勤先　ハルピン・ジユウス・ライフ誌

寫眞はアシケンナルジ氏が昨年十月上海猶太人オーヘル・モルシ寺院に於て結婚式を擧げたる記念。

アシケンナルジ氏の兩親は上海佛租界ポールヘンリー街七號に在り猶太の熱心なる宗教家にて猶太社會より表彰せられ金一千磅を贈られたることあり又母親は上海オルト及びオズの熱心なる慈善奉仕家なり。

アシケンナルジ氏は先年ヘブリユー大學を卒業して上海に歸り猶太學校の教員兼教務委員を勤め佛蘭西の同族機關誌の中國通信を書いて居たが昨年十月上海にて結婚し目下ハルピン市の猶太

機關誌ジユウス・ライフの記者を勤む。

【5】アーサー・ソフエヤー　Arthur Sopher



アーサー・ソフエヤー

住　宅　上海白利南路四一號

營業所　九江路二十號

英國籍猶太人、兄弟二人あり。

兄をアーサー、弟をテオドラと呼び和蘭系ジユウなり。

出生地は上海。

Arthur 氏は元上海チヤイナプレス（大陸報）の發行人であつたソフエヤー未亡人の子にして千九百二年上海に生れ、英國のジユウイス・カレジに學ぶ。

(Jewish College Queen square House London)

母親ソフエヤーは英國のブレストンに生れたる和蘭系猶太人で宗派はオーヘル・モルシに屬す。

ソフエヤー兄弟は現在母の資産を繼ぎ共同租界九江路二〇號にソフエヤー兄弟商會を經營して土地賣買、工場金融、信託業を營み又香港株式取引所の仲買店を營み居れり。

【6】テオドラ・ソフエヤー　Theodora Sopher



テオドラ・ソフエヤー

住　　宅　上海白利南路四一號
營業所　九江路二〇號
千九百〇七年上海に生る。
英籍猶太人
千九百三十一年香港大學を卒業す。

【7】英國極東艦隊乘組水兵トランペルダー會　British Sailors Trumpelder Org.



水兵トランプエルダー會

寫眞は英國の極東派遣艦隊乘組水兵達の間に組織さるるトランプエルダー會にて會の目的精神は猶太祖先先輩を尊敬して猶太の苦鬪を記念する精神的善導の會である、然し宗派の中に組織さる會で猶太全體のもので無い。

【8】ヘンリー・バルデ Henry Barde



ヘンリーバルデ

住　宅　佛租界海格路五二一號

營業所　エドワード七世路九號

職　業　ハバス通信社上海支局（極東部）

ヘンリー・バルデ氏は佛國籍のポーランド系猶太人、同社の主筆ジヤツクエス氏、記者マルクス氏も猶太人なり。

バルデ氏はハバス通信極東局長にして局の主筆 Deschodt Jacques. は佛租界環龍路九九號アパート四〇五號室に住す。

記者 Marcuse J. は共同租界愛而白納街六號（albury Lane.）に住、三者共に猶太人なり。

（通信社の内容は省略す）

【9】ブロドスキー E. Brodsky

住　所　佛租界 Rte. Vallon 八八 Pass 11號

公　職　ベリス・トランプ・エルダー上海支部長



ブロドスキー

ロシヤン猶太人

ヴオロヴイック夫人（D. Volovik）

ルバルスキー孃（R. Lubarsky）

ブロドスキー氏（E. Brodsky）

以上三名支部幹部

ブロドスキー氏は Berith-Trump-elder 會の上海支部長を勤め猶太先祖の敬老運動を任務として居る、支部幹部には Mrs. D. Volovik. Miss R. Lubarsky あり、上海猶太協會は支部員慰勞會を毎年一回ユデア・クラブに開きて部員の貢獻を感謝する習慣がある。

寫眞は昨年十月十三日ユデヤ倶樂部に於ける慰勞會の記念撮影である、胸の徽章は極東各地の猶太社會から表彰したものである。

【10】ブロッチ　M. S. Bloch

住　所　上海佛租界 Rte. Courbet 二〇一號

營業所　黄浦灘路十四號

商　號　Bloch Mfg and Lumber Co. Ltd.



ブロッチ

公職　猶太（ashkenazi）自治協會會長

英國籍猶太人にて　西木材會社を經營す（香港登記）
猶太自治協會會長を勤む。

ブロッチ氏は黄浦灘十四號に營業所を、ゼスフイルト公園に製材工場を設け箱、床板を製造し仕上げ工事請負をなす、鐵道枕木を輸入す、代理店は

Weetack & Co.

Seoborn Caustricutice & Flooring Co.

氏はアシケン猶太人にて千九百三十六年八月に猶太自然協會役員改選に當り協會會長に推擧せられて就任し、其の就任演説の中に次の如き猶太民族發展の基本精神を鼓吹した。

『（前略）

哈爾賓方面に於ける猶太排斥運動は白露人の有する傳統的排猶思想ばかりでなく東洋に於て國籍を發見せんとする白系露人の生活に對する待望と猶太人或は猶太の資本の北滿方面への考へる事は出來ぬ政治的組織的の排猶が行はれて居る性質を見落してはならない、故に吾々は關心を拂はねばならぬ。

而して吾人の亞細亞に於ける新使命に就て余の過去に於ける體驗を述ぶれば

今日の土耳古を驚歎の目を以つて眺めると同時にアフガニスタンの進展を著しく見、最近支那の建國事業を顯著なる實例と見るならば最早世界の社會經濟、政治は全く轉回して新たなる世界の創造を認識せねばならぬ、新興日本の滿洲國建設は十五年乃至二十五年の將來には必ずや吾々民族との接合融和を必要となし之を要求する時が來るであらうと信じて居る、世界の平和は期間的にして人類の進步は無限である、であるならば其の期間的の繼續には新たなる決戰的鬪爭の段階を越へて次期への飛躍を要するであらう、其の方法は戰爭か條約か豫想せられないが平和的、破壞的の何れにせよ、吾々東洋に生活の根據を置くものに取つては關係が重大であり傍觀は許されないであらう、故に吾人は平素に於て之が對應策を研究し樹立して置く事は當然の本能的の備へであると信じて居る、其の實例は土耳古に於てアフガニスタンに於て吾人の前に表明せられて居る、平和を愛好し世界の平和の促進運動に使命を有する吾が民族は時が來れば重要なる役割を負擔せねばならぬ事を確信す。』

云々と興味深き抱負の一端を發表した。

【11】ビ　ー　ル　N. G. Beale

ビール氏は英國男爵ジヨウジ・ビール氏の經營に係る上海英商通用電器公司 (General Electric Co. of China Ltd.) の代理人にて男の實弟である、住宅佛租界 Corneille 街八號



ビール

寫眞は經營者ビール男爵にて英國猶太の貴族なり。

英商通用電器公司は共同租界寧波路二三一二七號にあり、男の實弟ビール氏總支配人を勤む。

副支配人は Show 氏にて技師長はコーチヤギンスキ、電器部主任は Cloyton 氏、會計主任はチヤンドラー氏にて香港支店長は A. B. Rawarth 氏、又大連支店長は Turner P. W. 氏、天津支店長は Eodie W. 氏で中國以外の主要都市に支店又は出張所を置き電器具の賣込み電氣工事を請負ふ外に十數ヶ會社の代理店を營む。

代理店左の如し。

1. The General Electric Co. London
2. Pirelli Co. Ltd. London
3. Chamberlain & Hookham Co. Birmingham
4. Fraser & Chalmers Eng. Co. Kent.
5. The Express & S. M. S. Life Co. London
6. Souberson Bros. Co. Sheffield
7. Chos, Schieren Co. U. Y. U. S. A.

8. Ramsome & Ropier Co. London
9. Watson and Son Co. London
10. The Siemens & General Electric Railway Signal Co. London
11. Person Oil Enqire Co. Southampton
12. Flexible steel Lacings Co. Chicago
13. British Ropes Co. London
14. Manchester and Coventry Pirelli Co. London.

（以上）

【12】バーンス N. Burns



バーンス

住所　上海共同租界靜安寺路一一七三號

勤先　上海電力會社技師

公職　猶太避難民救濟會委員

英國籍猶太人なり。

現在上海電力會社の技師を勤む。

【13】ロバート・ビットカー Robert Bitker



ロバート・ビットカー

住宅　佛租界アルバート路三七五號
職業　貿易商
公職　工部局義勇隊ユデヤ隊長

ビットカー氏は北米合衆國フロリダ・ユデヤ・コロニーに生れたる米國籍猶太人にして米國陸軍休職將校にして現在共同租界工部局義勇隊の猶太隊長なり。

寫眞は上海工部局義勇隊の猶太隊にて中央肥大の男は隊長ビットカー氏である。

本隊は全員五十餘名あり。

この記念撮影は千九百三十五年四月十八日大馬路競馬場に於て行はれたる義勇隊指揮官グラハム大佐の檢閲式當日猶太隊全員を撮つたものである。

本職は貿易商にてアメリカン・アジヤチック・ツレーデング商會の上海總支配人として活躍し、左の七會社の支那總代理店

を兼任す。

1. William S. Merrell Co. Ohio U. S. A.
2. San-Nop-Park Mfg Co. New York U. S. A.
3. Bayer International Laboratories Chicago U. S. A.
4. Marrion Lonbert Co. St. Louis U. S. A.
5. Kathrine Mac'Donold Co. California U. S. A.
6. Edgar Konn Co. New York. U. S. A.
7. Friedrich Herkenrath Co. Germany

【14】メンデル・ブラウン　Rev. Mendel Brown

住　宅　上海共同租界西摩路十六號

イスパニア種猶太人にして米國シンシナチー市產なるも幼にして英國ブリマス市に移住し英國籍を有す。



メンデル・ブラウン

現職は西摩路五〇〇號にある猶太教會 Ohel-Rachel の司會者にして、其の他幾多猶太同族の團體に公職を持ち、又猶太の機關誌エスラヘル・メツセンヂヤー誌の發行人なり。

氏の來滬は千九百三十四年五月にして、目的は極東に於ける猶太同族民の團結を計り獨逸の極

東ナチ運動指導者ハセノールの反猶運動に對抗して同族民の權利を擁護する使命を帶び、千九百三十四年英國サイオニスト教會本部派遣の代表者ベンション・シエーン博士と同道して上海に來り、爾來熱心なる猶太民族結合運動の責任者として活躍す。氏の關係する團體次の如し。

上海猶太協會（司會者たり）

上海猶太民族擁護運動會

上海サイオニスト協會委員

上海オヘル・ラチエル教會委員

上海猶太ユース・オーガニゼーション

上海ウクライナ猶太倶樂部會員

猶太避難民救濟協會委員

上海猶太スポーツ倶樂部顧問

メンデル・ブラウン氏の獨逸ナチ運動反對工作の指導精神は氏が上海着任當日アストル旅館に於ける演說に次の如き內容の猶太民族に與ふる敎書を發表した。

「最も神聖なるイスラヘル宗徒よ、我等は人生の動亂より猶太敎會の平和の中に逃れ神と人との和解合致を求めよ」

人の權利を否定し安住の權利を連日足の下に蹂躪せられて深刻なる試練を經たる吾等の兄弟

を追憶すれば吾人の傷心に堪へ難きものあるを覺えしむ。

吾人兄弟の今日の問題は吾人自らの問題にして人類生活に神聖なるものを唱導する人々凡ての問題なり、測り難き神の意志に順應し、吾人は逆境に泣く兄弟の爲にトーラ及びタルムードに指示せらるる吾等の忠誠なる繼承的觀念を覆滅することなく永遠なる行動をなすべきなり。

吾等の宗徒は聖の義を毀損し神の與へたる人類の平和なる生存權を剝奪し迫害するものは「汝に武器と武力を以て向ふものは滅び、汝を誹謗するものは其の罪を自ら負ふ可し」のイスラエルの約言に依り其の罪を受けるべし。

吾人父祖、吾人の祈禱に對して神は天に通ずる聖門を開き全きを後悔なすものは皆許さるべし、全世界の人々に平和なる猶太の神靈を弘め眞正なる心より汝の意志を促進して神の逆徒をして悔ひ改めしむべし」云々

此の猶太の教書はメンデル・ブラウン氏が倫敦を出發するに際し倫敦本部より極東猶太同宗民族に與へたる民族結合運動の指導精神にして氏は着任後の活動は凡てこの教義を遵奉して獨逸のナチ極東支部の活動に對抗陣を張つて居るものである(教書の執筆者はヨセフ・ミミロワ(Joseph. Mimirower)と云ふ猶太教の弘法博士である)

附　記

メンデル・ブラウン氏は上海猶太協會の宣傳機關紙エスラエル・メッセンヂヤー主筆兼發行人E・

D・エズラ氏客年十二月三日病死以來、同誌の發行を繼承して續刊し、極東猶太の爲に氣焔をあげつつあり。

發行部數約三千部內外なり。

【15】レオン・コーシン Mons Leon Coursin


レオン・コーシン

上海住宅　共同租界愚園路千三百九十六號
　　　　　アパート七號室
所屬籍　國際聯盟
職務　中國全國經濟建設委員會合作員
專門　水利土木技師

英國猶太人にて聯盟交通委員會より中國水利事業合作員として特派せらる。

コーシン氏は中國全國經濟委員會の水利事業技術合作員として一九三四年國際聯盟より特派せられ、同年六月着任以來次の各所に於ける水利土木設計工程を監督す。

一、陝西省經惠渠土木管理局（完成す）

一、綏遠民生渠水利事業は聯盟專門員オモヂア氏と合作調査の上工事困難にて中止す。

一、甘肅省水渠工程測量

一、寧夏雲亭渠放水路設計

一、黄河水利委員會堤防工程技術合作

一、梅河浚渫工程及永定河工程

一、河北龍鳳河調節閘門設計

一、導淮入海水道工程（楊莊周門）

其の他幾多の水利放水溝を設計測量監督等に從事し居れり。

中國の水利事業技術合作員はコーシン（英）、オモジア（英）、メートウー（和蘭）、ウエンゴス（獨逸）、エーマード（波蘭）等五名あり。

【16】レーイ・コウヘン孃　Miss Ray Cohen



レーイ・コウヘン孃

住　所　サッスーンハウス內サッスーン住宅內

親の居所　共同租界新閘路一三〇四號

勤　務　E・D・サッスーン氏の祕書役

英國籍猶太人 S.P. Cohen の娘にてE・D・サッスーン翁の祕書として住宅內に同居し訪問客の接待應

接をなし女房代りの翁の慰安者である。

コウヘン孃はサッスーン銀行員S・P・コウヘンの娘にて當年二十八歳の美貌の持主、E・D・サッスーン翁の女秘書を勤めサッスーン財閥の機要事務に携り中國側要人等の間に接觸して外交接待に努め中國建設銀公司總經理宋子良と懇意の間柄である。

孃は常にサッスーン翁の私室に居住して事務所には姿を見せず翁は獨身生活者であるから身の廻りを世話して忠實に働き總ての切廻し一切を委任せられて居る。

其の關係は大谷光瑞師の武子孃の如きものである。

【17】ゼー・コウヘン　J. Cohen



ゼー・コウヘン

住宅　上海佛租界 Rte de Say Zoog 一三三

營業所　四川路一四九號　二三九號室

公職　上海英國居留民聯合會委員

ポーランド系英國籍猶太人にて宗派はオーヘル・レアー・シナゴーグに屬す。

コウヘン氏は大英教育社の支配人にて種族はポーランド系猶太人なり商社は共同租界四川路一四九號にあり社員（英人）七名あり全部猶太人である。

社の英名は British Educational Agency と稱し營業科目は商品主として工藝品の通信販賣を營み博物標本等を支那の學校に納入す、其の他各國の活動フヰルムの輸入取扱ひをなし（British Film Co.）又ベンネット・カレジの極東事務取扱をなして居る。

コウヘン氏の公職は上海居留英國人聯合會委員を勤め、工部局市參事會員選擧の際は例年選擧委員に指名せられ熱心に運動をなして居るが氏の娘サリヤ・コウヘン孃は父と共に選擧運動を手傳ひ當時外字新聞に記事が出た事あり政治問題の興味を持ちキリスト教女子青年會に講演に行く事がある、親子共に活動家である。

【18】ラエ・コウヘン孃 Rae Cohen



ラエ・コウヘン孃

住　所　西摩路第一弄六四〇號

勤　先　亞細亞石油上海支店

英國籍猶太人にして香港生れ、香港大學を卒業す。亞細亞石油の電信係りを勤む。

當年二十八歲。

コウヘン孃は千九百三十四年香港大學を卒業して上海に來り彼女の伯父伯母の家西摩路第一弄六四〇號に寄寓して亞細亞石油上海支店の電信課に勤

務す（月給百七十五弗）

彼女の父は香港の Aaron Sassoon Gubbay 會社のセメント工場技師にして彼女の實兄コウヘンは David Sassoon Co. に就職し居れり。

コウヘン孃は上海猶太チェリテー協會の幹事を勤め又避難民協會・猶太音樂同好會オーヘル・ラッセル・シナゴーグの委員等幾多の團體幹部を公職し同族婦女界に花形として活動して居るが勤先きでは重役ジョンス氏の信任を受け一切の電信事務を擔當して居る。

彼女は毎年日本に夏期旅行をなし日本風景の絶讃者である。

【19】エ　ズ　ラ　N. E. B. Ezra



エ　ズ　ラ

住　宅　上海共同租界西摩路太平街六號

職　業　雜誌發行

技　術　家屋建築

アラビヤ猶太人英國籍

昨年十二月三日年齢五十七歳にて病死す。

エズラは四川路三三〇號に事務所を設け本業はチャイナ・パレスタイン貿易商を營むも氏は上海猶太協會の宣傳部委員長を奉じ同會の對外宣傳機關

紙エスラエル・メッセンヂャー誌の發行人となり自ら主筆を兼ねて居た、其の他申新造營廠の外人部支配人として所々の建築請負入札に加はり彼が建築方面に於て大きな仕事をなしたのは北蘇州路河岸のエムバンクメント・ハウスの請負であつたが自ら設計する能力の所有者である。

エズラ氏は多く日本人知己を有し雜誌發行人として知られて居るが彼が建築方面に又政治方面に或は猶太人の結社人として明暗兩面に活躍しつつある人物である事を知る日本人は稀である。

エズラ氏の日本朝野に於ける名士名門の知り人は田中男（故人）重光（外務）小谷部博士、杉村陽太郎、河上博士（左翼の）林權助氏等の外に歴代上海に駐剳する日本總領事は大抵エズラの知己である。矢田七太郎、石射猪太郎氏等は特に親交があつた外に往復文件も幾多交され其の內容が時々エスラエル・メッセンヂャー誌に掲載せられた事がある。就中重光（次官時代）氏とは特に交情ありエズラの渡日と重光氏の會見は重要視せられて居たが、エズラの渡日目的は滿洲國に猶太移民の入國と北滿に於ける同族人の營業に關する交渉が主なるものであつたとエズラ自身が語つた事がある。

エズラの公職は猶太協會、避難民救濟會、復興協會、オルト社、オヅ社、敎會委員會、Bnai Brith、猶太デフエンス協會、クリニック倶樂部等々十餘個の團體に委員として關係し其の勢力絕倫なる彼の活動は有名なものであつた。

エズラの對日活動

上海の猶太人の中最も日本人に接近し又能く日本人の長短を辨へて交際する者は彼れエズラ氏にて、滿洲國出現後は特に努めて日本の朝野に接近し、上海に於ては東亞同文書院、日本キリスト青年會等で屢々講演して日猶の親交を説き、又大連に開催せられたる大亞細亞會議には長文の祝辭的協賛電報を寄せ「東洋平和の熱烈なる協力者である」と通告して日猶協調大亞細亞建設を唱導したが、一度北滿に於ける共產黨檢擧と猶太排斥が起り（白露人社會から）滿洲國日系官吏の彼等に對する措置が猶太人の不平となつて現れ、同時に日本當局の方針が猶太の滿洲移入に反對の意嚮が表明せられるや、彼エズラはハルピン日本總領事森島に直接抗議電報を發し、上海日本總領事には自ら出頭して抗議を提出し、或は本省直接に或は又米國の同志を動かして駐米日本大使に抗議を出さしめる等總ての緩和運動を試みたが、其等の運動は効果なくして北滿の排猶運動依然として行はれつつある狀態に對し、上海猶太協會は對策會議を開き討論を行つた結果猶太の滿洲入國と投資計畫は絕望にして餘地なきものと見透しをつけ、俄然上海猶太の對日感情は惡化して昨日の親日は今日の排日に豹變を見るに至り、昭和十年二月號エスラエル・メッセンヂヤー誌には滿洲國日系官吏の行政と日本軍部當局に對する痛烈なる攻擊記事を掲載し、ハルピンのAngelvish 商會 Saliman（I・S・S 支配人）Sterring 木材商事件を種にして辛辣なる論調を以て誹謗を始め、堂々日本に對して挑戰的態度を表明し、猶太の多角形人格を遺憾なく暴露するに至つた。

其の後エズラの日本人に對する言動は一變し來り支那人の東北問題に對する民衆運動の裏面に煽動的工作を取るに至つた。

左記は昭和十年二月哈爾賓に於て發行される猶太生活報 "Harbin Jewish life" の十五週年記念に對してエズラが送れる祝辭激勵文の要譯である。

「ジユウスライフ誌が一月號を以て第十五週年記念日を祝賀せらる事は極めて吾々の滿足する所なり。

哈爾賓在住猶太人及び外國に居留する凡ての吾民族の擧げて喜ぶべき又意義深き記念なり、吾民族は何處にありても、少數なる吾民族が優越せる智識を以て生活經濟平和鬪爭の爲めに戰ひ過去に於ても將來に於ても努力するであらう同族民の誇りにして存在の爲めに同樣なる手段に依りて、鬪爭せられ試練せらる可きで、生存の權利生活の權利鬪爭の自由等の責任は神聖なる同族の共同責任であると共に其の共同なる喜びなり。

吾人の知る在滿洲在獨逸の排斥壓迫は歷史に記錄せらるべき吾等の生存權の否認にして今や吾徒は神より對滿對獨に對抗する吾人の義務を我が祖より呼稱せられ居れり。

吾民族の各地に於ける緊急危機は斷然看過し能はざる所にして猶太の理想を回顧し白日の下に亂舞しつつある偶像と傀儡に抗爭せざるべからず。ジユウスライフ誌の十五年記念に對し深刻なる祝辭を呈し猶太の生活と理想に於て最善にして高潔なる吾徒識者の魂に育成せられつつある生

存の闘争を繼續すべき事を謹告す。自由と闘争、救世的闘争、民族の闘争は吾人の傳統にして之を激勵感銘せしむるは吾人の義務なり。」云々

エズラは五十七歳にして流行感冒に斃れ彼の意志は息子に繼がれ家族は尚上海に居住す。

【20】セシル・エズラ　Cecil Ezra



セシル・エズラ

住宅　佛租界霞飛路一二〇九號

事務所　共同租界九江路一五〇號

公職　國民政府實業部顧問

英國籍猶太人にて千萬長者と稱せられたるエドワード・エズラ氏の長男なり。

現在兄弟にて新康洋行を經營す。

セシル・エズラ氏は故エドワード・エズラの長男にて現在共同租界九江路一五〇號に兄弟合資の新康洋行を經營し土地、信託、一般商事に從事しつつあるが多く南京に在りて洋行は實弟のデンジル・エズラ氏に委せて居る。

新康洋行の內容は合資三十萬弗と稱せられ、兄セシル弟デンジルの外に母親ミセスエドワード・エズラも共同事業に加入し、土地管理支配人には Isaach Samson 氏專任し、庶務はザール P. D.

Zoarが取扱ひ、信託はデンジル・エズラ自身が擔當して居るが、兄のセシル・エズラは國民政府實業部顧問に就任し英支兩國の經濟、金融其他政治方面に活動しつつあり、兄弟共に活動家である。（エドワード・エズラはハードンと共に上海の富豪であり資産千萬弗と稱せられたが晩年に至り株式取引に失敗して私産僅かに三十萬弗を殘して死亡せり）。



セシル・エズラと騎手

セシルは競馬に熱中し二十頭の馬を持つて居るが彼の專屬騎手は中英康款理事會英國理事マーシヤル氏の息子にて南京豆の綽名を持つマーシヤル君にて昨年上海競馬倶樂部クーギー盃競馬に優勝す。

寫眞は騎手南京豆とセシル・エズラ氏

【21】デンジル・エズラ　Denzil Ezra

住所　佛租界霞飛路一二〇九號

營業所　共同租界九江路百五十號

事務所　九江路花旗銀行ビル一二二號室

英國籍猶太人にて實兄セシル・エズラと共同經營にて商賣す、兄は國民政府實業部顧問なり。


デンジル・エズラ

デンジル・エズラはエドワード・エズラの二男にて上海に生る。

父エズラは英租界目抜き南京路方面の大地主として百萬長者を謳はれたが晩年は株式取引の失敗にて財產を失ひ僅か三十萬弗位を兄弟二人に分配したと云はるがデンジル・エズラ氏は其の二男に當る息子である。新康洋行は兄のセシルと共同經營の店であるが營業科目は土地賣買、信託及一般商事である。佛租界霞飛路に母と兄弟同居す。

【22】イングランダー　Rabbi D. Englander


イングランダー

住居及事務所　上海北蘇州路エンバンクメントハウス内
職業　猶太教の講法使

千八百八十五年バグダッドに生れ英國籍を有する猶太人なり。パレスタインより昨年來滬し、極東同宗族の中に猶太教の道を説く宗教家にして信用厚し。

イングランダー氏はバグダットに生れ、ヘブリユ

ー大學卒業後英京倫敦に留學しレーモンド家の世話を受けたが、後ヴィンナ大學の助教授となつて赴任し千九百十七年パレスタインに歸り猶太大學の教授となつた。イングランダー氏は無妻主義者にして倘妻帶せず宗教生活を熱心に續けつつあり。千九百二十五年パレスタイン駐在英國最高委員アーサー・ウオチヤツプス將軍（Lieut General Sir Arther Wauchaps）の信任を受けて委任統治府の參議に推薦せられ、將軍を扶けて統治領行政の樞機に參與し、アラブ民族との宗教鬪爭問題に努力して手腕をあげ、英國政府より英領屬國或は殖民地に於ける猶太人社會に宗教講法使として派遣せらるる事になつた。イングランダー氏は英領ダーバン港（アフリカ東海岸の）に駐在する事二年にして印度のマドラスに轉じ昨年四月上海に來れり。

氏は來滬後上海猶太と密接關係ある北滿哈爾賓方面の猶太人及西比利亞各地の猶太同宗族の生活狀況を視察の上シベリヤ鐵道にてパレスタインに歸國する豫定にて昨年八月上海を發足し哈爾賓に赴きたるも蘇聯入國の許可證交付を拒絕せられ再び上海に引返し船にて印度經由歸國に就いたが本年六月中に上海に歸任の筈である。

因に記す「イングランダー氏の生活費一切は香港の豪商 E. M. Raymond 家より寄附せられて居る。



アーサー　ウオチヤツプス

寫眞はイングランダーを信任するパレスタイン委任



デンジル・エズラ

デンジル・エズラはエドワード・エズラの二男にて上海に生る。

父エズラは英租界目抜き南京路方面の大地主として百萬長者を謳はれたが晩年は株式取引の失敗にて財産を失ひ僅か三十萬弗位を兄弟二人に分配したと云はるがデンジル・エズラ氏は其の二男に當る息子である。

新康洋行は兄のセシルと共同經營の店であるが營業科目は土地賣買、信託及一般商事である。

佛租界霞飛路に母と兄弟同居す。

【22】イングランダー　Rabbi D. Englander



イングランダー

住居及事務所　上海北蘇州路エンバンクメントハウス内

職　　業　猶太教の講法使

千八百八十五年バグダッドに生れ英國籍を有する猶太人なり。パレスタインより昨年來滬し、極東同宗族の中に猶太教の道を説く宗教家にして信用厚し。

イングランダー氏はバグダットに生れ、ヘブリユ

ー大學卒業後英京倫敦に留學しレーモンド家の世話を受けたが、後ヴインナ大學の助教授となつて赴任し千九百十七年パレスタインに歸り猶太大學の教授となつた。イングランダー氏は無妻主義者にして尙妻帶せず宗教生活を熱心に續けつつあり。千九百二十五年パレスタイン駐在英國最高委員アーサー・ウオチヤツプス將軍（Lieut General Sir Arther Wauchaps）の信任を受けて委任統治府の參議に推薦せられ、將軍を扶けて統治領行政の樞機に參與し、アラブ民族との宗教鬪爭問題に努力して手腕をあげ、英國政府より英領屬國或は殖民地に於ける猶太人社會に宗教講法使として派遣せらるる事になつた。イングランダー氏は英領ダーバン港（アフリカ東海岸の）に駐在する事二年にして印度のマドラスに轉じ昨年四月上海に來れり。

氏は來滬後上海猶太と密接關係ある北滿哈爾賓方面の猶太人及西比利亞各地の猶太同宗族の生活狀況を視察の上シベリヤ鐵道にてパレスタインに歸國する豫定にて昨年八月上海を發足し哈爾賓に赴きたるも蘇聯入國の許可證交付を拒絕せられ再び上海に引返し船にて印度經由歸國に就いたが本年六月中に上海に歸任の筈である。



アーサー　ウオチヤツプス

因に記す「イングランダー氏の生活費一切は香港の豪商 E. M. Raymond 家より寄附せられて居る。

寫眞はイングランダーを信任するパレスタイン委任

統治府の最高行政官アーサー・ウオチヤツプス陸軍中將 L. G. Sir Arther Wauchaps 將軍はパレスタインに駐在して委任統治領行政を監督するのみならず土耳古のケマルパシヤが蘇聯の腰押しで銀行會社其他英國資本家を壓迫する傾向あり之を牽制する爲め汎回教運動の再建を畫策してケマルパシヤを抑壓しつつある辣腕家である。

【23】スターリング・フエツセンデン Stirling Fessenden

住宅　佛蘭西租界巨籟達路六八七號
職務　共同租界工部局事務總長
本職　米國の辯護士

フエツセンデン氏はアメリカン猶太人にて工部局事務總長支那側と情意投合の老猾なる人物である。



スターリング
フエツセンデン

フエセンデン氏は米國籍猶太人にて本業は辯護士である。氏は英租界工部局市參事會議長を勤めたる第二人目の米國人にて第一回の議長は今より五十年前一八八三年 Purden 氏當選し其の次の議長はフエツセンデン氏、現在のフランクリン氏は米國人議長の第三人目なり。

氏は工部局事務總長として工部局行政事務を總括し年俸四萬五千弗の高給者なり。

氏が米國人であるに拘らず英租界當時より引續きて工部局最高幹部の職權を把持して尙今日に

及ぶ所以は上海市が猶太によつて建設せられたる猶太市街である特質に於て氏の人種が同族の猶太人である事に起因す。何故ならば市參事會を構成する委員は上海の大實業家若くは其の代辯者なるが故に選任せらる委員が猶太人ばかりである所にフエツセンデン氏の生命があるのである。

氏は民國七年大陸報（チヤイナプレス）の所有者エドワード・エズラ死亡後同社の後任社長ソフエヤー氏を助けて自ら社長に就任して經營を掌握し特に同紙の毎金曜日朝刊には猶太特別欄を設けて宣傳記事を掲載したが、本紙の創刊者が排日家のトーマス・ミラード氏であるだけに對日問題の記事取扱ひは兎角日本人側には有利でなかつた（現在に於ても）。

フエツセンデン氏は外國人の老上海にて永年工部局に高給を食んで居り相當私財も蓄積せられ不動產を相當所有しつつあるが、最近特區問題を起して居る西區の外人勢力地帶の中にはフエツセンデン氏の關係する土地會社もあり、問題の交涉が兎角支那側と工部局側の協調合致の爲め日本側が不利に陷つて居る裏面には工部局代表者のフエツセンデンと土地投資會社の利害關係が蟠つて居ると見らる。

【24】フランクリン　C. S. Franklin

住　　宅　ジヨルダン・アベニユー　二〇〇號

・職　　業　辯護士

統治府の最高行政官アーサー・ウオチヤップス陸軍中將 L. G. Sir Arther Wauchaps 將軍はパレスタインに駐在して委任統治領行政を監督するのみならず土耳古のケマルパシヤが蘇聯の腰押しで銀行會社其他英國資本家を壓迫する傾向あり之を牽制する爲め汎回教運動の再建を畫策してケマルパシヤを抑壓しつつある辣腕家である。

【23】スターリング・フエッセンデン　Stirling Fessenden

住宅　佛蘭西租界巨頼達路六八七號
職務　共同租界工部局事務總長
本職　米國の辯護士

フエッセンデン氏はアメリカン猶太人にて工部局事務總長支那側と情意投合の老獪なる人物である。



スターリング
フエッセンデン

フエッセンデン氏は米國籍猶太人にて本業は辯護士である。氏は英租界工部局市參事會議長を勤めたる第二人目の米國人にて第一回の議長は今より五十年前一八八三年 Purden 氏當選し其の次の議長はフエッセンデン氏、現在のフランクリン氏は米國人議長の第三人目なり。

氏は工部局事務總長として工部局行政事務を總括し年俸四萬五千弗の高給者なり。

氏が米國人であるに拘らず英租界當時より引續きて工部局最高幹部の職權を把持して尚今日に

及ぶ所以は上海市が猶太によつて建設せられたる猶太市街である特質に於て氏の人種が同族の猶太人である事に起因す。何故ならば市參事會を構成する委員は上海の大實業家若くは其の代辦者なるが故に選任せらる委員が猶太人ばかりである所にフェッセンデン氏の生命があるのである。

氏は民國七年大陸報（チャイナプレス）の所有者エドワード・エズラ死亡後同社の後任社長ソフェヤー氏を助けて自ら社長に就任して經營を掌握し特に同紙の毎金曜日朝刊には猶太特別欄を設けて宣傳記事を掲載したが、本紙の創刊者が排日家のトーマス・ミラード氏であるだけに對日問題の記事取扱ひは兎角日本人側には有利でなかつた（現在に於ても）。

フェッセンデン氏は外國人の老上海にて永年工部局に高給を食んで居り相當私財も蓄積せられ不動產を相當所有しつつあるが、最近特區問題を起して居る西區の外人勢力地帶の中にはフェッセンデン氏の關係する土地會社もあり、問題の交涉が兎角支那側と工部局側の協調合致の爲め日本側が不利に陷つて居る裏面には工部局代表者のフェッセンデンと土地投資會社の利害關係が蟠つて居ると見らる。

【24】フランクリン　C. S. Franklin

住　宅　ジョルダン・アベニュー　二〇〇號

職　業　辯　護　士

勤　先　W. B. Harrington 法律事務所

公　職　上海共同租界工部局市參事會議長

一八九二年米國ミシシッピー州コロンブスに生る。

一九二一年來滬同二九年にダラス・チエスターマン・リーと結婚す。



フランクリン

現工部局市參事會議長

フランクリン氏は現上海租界工部局市參事會議長として租界行政權を握る。

氏は本職辯護士にて一九二一年來支しハーリングトン氏辯護士事務所に勤め今日迄に數回市參事會員として在留アメリカ人を代表して租界行政に參與す。外に在留米國人會社團體に幾多關係しアメリカ商業會議所、佛蘭西商業會議所、上海競馬倶樂部、萬國競馬總會、上海獵戯會等に加入して名を知られて居る。

【25】ソフイー・フインケルステイン孃　Sophie Finkelstein

住　所　佛租界 6 B Poss 195 Rte Ghisi

勤　先　南京路サッスーンハウス洋裝店

南京路サッスーンビル一階に Caloline と商號する婦人洋服店を經營資本主はビクター・サッツ

スーン卿であると同族人間に噂せらる。



フインケルスティン姉妹

英國籍猶太人なり。
右　姉のソフイー
左　妹のアンニー

【26】アンニー・フインケルスティン孃　Annie Finkelstein

住　所　佛租界 6 B Poss 195 Rte Ghisi
勤　先　四川路一四九コンネル兄弟商會秘書

姉と共に佛租界 Rte Ghisi 一九五號パス六號に住居し四川路一四九 Connell Brother Co. の秘書を勤め兄は倫敦サツスーン本部に勤務す。姉妹二人共美人にて外人社會の花形として騷がれて居る。

【27】モントゴメリー・ヒユーゲツセン　Sir Hughes Montgomery K. Hugessen

寫眞は駐華英國大使ヒユーゲツセン氏なり。

ヒユーゲツセン氏は昨年四月前任英國大使カドガン氏の後任として赴任せられ夫人及び令孃二



ヒューゲッセン

人の四人家族である。上海猶太人はヒューゲッセン大使の來支を以て二人の猶太人の大使があると自慢して居る。今一人の大使は駐華佛蘭西大使ポール・エミル・ナザール氏である。

ヒューゲッセン大使の來任は、最近中國の諸事業即ち國家建設計畫と英國資本の關係を圓滑融和ならしめ、政治的工作の進行は勿論經濟資本關係に於て英支兩國民の融合發展に對し氏の來任は正に適材適所の觀がある。過去二十五ヶ年間の中國革命軍政時代に於ける英國の對支經濟提携は蔣介石政權に對する英本國保守閥資本家の投資（材料賣込借款等）範圍に於て交渉が保たれて居た概觀があり、前任ラムプソン公使の如きは此の關係の上に立ちて英國の對支政經工作を進めたる代表者であつたであらう。

然しながら中國建設の發展は政治機構が軍政より訓政へ訓政時代より憲政へと進むに從つて又建設諸般の事業性質にも變革を招來し、外國投資の對象は政權者を對照とせず國家を對象として行はれ、極端に言へば「蔣介石は無くとも外國の對支借款は危險を感じない」程度に中國が組織化せられ法治國家的に强化せられ行く趨勢にあり、建設事業の性質も軍政權より國家社會的計畫へと進行し無限の開拓資本を要求するに至つた。此の轉換に對して英國從來の對支經濟政策も又

一變して英本國の所謂官僚資本閥の對支投資より積極政策へと進み、現地猶太財閥の資本利用による對支積極的投資へと變調するに至つた。現在の對支積極投資は即ち其の具體化であるが、猶太資本閥の對支投資を利用する英國政府が其の投資の安全擁護と圓滑なる經濟發展を保護する爲めに駐支大使に猶太人のヒューゲッセン大使を任命した事は寧ろ當然の事であつて、又猶太財閥が大使を驚喜して歡迎し得意になる事は何等の不思議はない。

斯くて中國は政治經濟兩面に於て猶太の資本と權力に操縦せられて行きつつある。

【28】マスリー商會上海代理店　Musry Trading Co. Shanghai Agency



マスリー

營業所　共同租界四川路六五〇番

代理人　モハメド・ダウド

本　店　印度カルカツタ市

日本支店　神戸市

アラブ猶太（英國籍猶太人）

印度に本店を、上海、神戸に支店を開設す。

寫眞は印度の本店主マスリー氏（G. N. Musry）

マスリー氏は英國猶太、出生地は英國保護國オマンのマスカツト港に生る。

印度に本店を有し私產五十萬弗と云はる。

上海に代理店を置き日本製モスリン販賣を營み神戶の代理店は昨年十一月支店に變革し日本品の對外貿易に從事し印度方面より中央亞細亞に日本品の販賣をなす。

氏は昨年夏休を利用して日本の商工業を視察しての歸途上海に立寄り猶太仲間の歡迎會に於て「將來の日印交易の有望を說き自分は之に全力を集中する」と語つた事がある

【29】パトリック Patorick

事務所　黃浦灘路二七ジヤーデンマーソン・ビル内

任務　駐華英國信用貸款局代表

パトリック氏は英國の對支輸出信用保證局より駐支代表として本年一月來任す。氏の事務所内には英國實業聯合會中國特別委員會辦事所を併設す。



パトリック

パトリック氏は英國の對支輸出信用保證局より支那駐劄監督として上海に派遣せられ、本年一月着任して以來長江上流各地、西南各地より華北方面を實況視察に赴き中國經濟建設事業を考察したが、氏は英國實業聯合會中國委員會上海事務所のパロック Pallock 氏を同伴した。

中國建設に需用する材料は四億萬元を限度として猶太の資本團代表サッスーンが保證裏書人となつて仲介機關をなして居る。

【30】フレデリック・レイス博士　Frederick Reiss

住宅　共同租界圓明園路一四二號内（六十四號室）

職業　醫師



フレデリック・レイス博士

公職　中國々立癩病院々長

〃　國立皮膚病醫科大學校教授

〃　上海猶太倶樂部理事

英國籍イラク猶太人なり。

獨逸ハンブルヒ醫大の博士なり。

出生地はイラクのバグダード。

レイス博士はイラク國のバグダード市に生れ、バビロニアン病院長レイス氏の息子なり、獨逸のハンブルヒ大學卒業後歸國してバグダード醫科專門學校の教授を奉職したが後香港政廳に招聘せられて皮膚病專門の檢疫官に就任した。

千九百十八年國民政府に招聘せられ上海に來り國立皮膚病醫學研究所に入り癩病院々長となって今日に及ぶ（Clinical of the National Leprasarm）

博士は熱心なるオーヘル・レシー派の信仰家にてシナゴグ財務委員を勤め、又猶太人の團體方面では復興協會、上海猶太協會委員等幾多の名譽職に就き猶太人社會のみならず外人間に立派な紳士として尊敬せられて居るが、國際金權の從僕と稱せられ猶太人社會には稀なる人格高潔の士である。

【31】ガッベイー C. S. Gatzbey



ガッベイー

住宅　搭羅帮路一三〇號

職務　上海猶太學校財務委員兼教務常任委員

アラビアンユデヤ人にて英國籍なり。

非常に熱心なる猶太教育事業家なり。

ガッベイー氏はパレスチのヘブリユウ大學卒業生にて上海猶太人子弟教育事業に心盡し、昨年ヒリッピン、シンガポール、南洋各地の猶太人の間を說き廻りて上海乃至はマニラに極東猶太教育の最高學府を設立すべく運動せり。各地の猶太はガッベイー氏の計畫に賛同し目下建設委員會を設け基金積立中である。こ

の計畫の主旨はパレスタイン大學に送る經費と不便を除き極東各地の猶太教育を均等ならしめる爲である。

【32】グラハム大佐　Col. F. R. W. Graham



グラハム大佐

住宅　共同租界 Yu Yuen Rd. 八五一號

公職　共同租界工部局義勇團指揮官 陸軍大佐

英國猶太人にて英國陸軍大佐、現工部局義勇團指揮官である。

【33】ゴールデンバーグ　Hazan Goldenberg



ゴールデンバーグ孃

住所　上海佛租界ラフエット路六六四號

職業　音樂教師

公職　猶太婦女倶樂部書記長

ハザン・ゴールデンバーグ孃は濠洲メルボルンに生れ英國籍猶太人。同市のセント・キルダ音樂學校を卒業して上海に來る。

ゴールデンバーグ孃はルーマニア種猶太人であると言はれ、濠洲メルボーン市に生れ同地の音樂學校 (St. Kilda Hebrew Music School) を卒業して結婚生活に入つたが事情あつて離婚し、



訓練隊

上海の親戚にてR、ゴールデンバーグ氏を頼りて來滬し同氏のラフエツト路六六四號に同居して音樂教師を業として生活す。

彼女は職業が音樂教師である反對に闘爭力の強い女性で上海猶太婦女倶樂部の責任者として婦女子に尙武精神を皷吹し軍事的訓練を敎へる等種變りの婦人である。

寫眞はゴールデンバーグ孃の指揮する Jewish Youth Argonization の訓練隊が英國陸軍の檢閲を受けつつある光景である。

【34】グリンベルグ L. Greenberg

住　　宅　上海共同租界匯山路七十一號

營業所　佛租界 Cardinal Mereier 一〇〇號

職　　業　中古自動車及び競馬馬匹仲買業

一八八七年ポーランドの Wishogrod に生れ英國籍を有す。

一九〇三年上海に來り、現在彼の私產五十萬弗と云はる。



グリンベルグ

グリンベルグは千八百八十七年ポーランドに生れたが、幼少の頃父親と生別し倫敦競馬倶樂部專屬博勞を營む伯父の家に引取られエデンバルグ中學校を卒業す。千九百〇三年彼は上海に來り上海競馬倶樂部に騎手を働いた事あるも、後サッスーンに信用を受け上海レース倶樂部の馬仲買人となる。現在彼の財產は五十萬弗を算し、佛租界マーカー街一〇〇號に中古自動車競賣、自動車ハドソン代理店其の他競馬馬の賣買を營む外に猶太萬國體育會の會長を勤む。

彼は萬國體育會の公職を利用し競馬場關係の商賣を手擴く營業する外に、上海物品交易所の役員を兼ね、投機方面にも手を出して居るが、上海競馬界の大馬主サッスーン及びモーラーに取り入り新馬納入にて莫利を占め居れり。

グリンベルグの宗派は Ohel-Moishe 教會に屬し委員制度の教會役員を勤む。

【35】ハルツ博士 Dr. Hertz

住所　上海共同租界西摩路五〇〇號



ヘルツ博士

本職（オーヘル・ラッセル派の宣教士）

アラビアン猶太人にて一八七七年アラビヤメヂナ市に生る。

エルサレム大學に遊び醫科を修めカイロ市に於て醫者を開業せるも、後オーヘル・ラッセル派の宣教士となりて今日に至る。

博士は西摩路五〇〇號 Ohel-Rachel 教會の宣教士にて、本職は内科醫なるも埃及カイロ市に醫者を開業中英國官憲より壓迫を受けてカイロを退去しパレスタインに歸國後醫者を廢業し、オーヘル・ラッセル派の宣教士となりて宗教生活に入りて今日に及ぶ。

ハルツ博士の實弟カール・ハルツ氏 Karl Hertz 氏は兄と同じく醫者にて醫學博士號を有し現在文路ピーアスアパートメント二號室に内科醫を開業す。

ハルツ博士のエヂプトカイロ市に於ける英國官憲の壓迫に關する逸話がある（ジユウス・ライフ十五週年記念號の記事に據る）。

ハルツ博士はカイロに醫院を開業中英國官憲の殖民地行政處分を受けたが、原因は博士が政事問題に興味を深く持ちカイロに於ける回教徒が英國に反對して示威運動を行つた際（一九二〇年）回教導師を援助したと言ふ嫌疑を以つて要視人物となつて居たが、偶々ヂブラルタル流罪地より

放免せられマルセーユ經由カイロに歸國したる回教徒の救世主ザクルルパシヤが病氣に罹り難澁して居るに拘らず回教徒の治療を禁止せる英國官憲の冷淡なる非人道的措置に憤慨したるハルツ博士は英國官憲の意に背きてザクルルパシヤを治療したる爲め、エヂプト回教徒は狂喜して博士に感謝し、この反動が猛烈なる反英示威行列となつて現れ市中到る所英國兵と群集の衝突となり遂に戒嚴令が布かれた大騷ぎとなり、ハルツ博士は遂に英國行政官から追放處分を受けるに至つた。斯くてパレスタインに歸れる博士は今度は猶太教徒から裏切者扱ひの罵倒を受けることになつたが、回教徒を援助したと言ふ猶太教徒の怨聲を聞き、博士は兩教徒の板挾みとなつて又エチオピア國に逃れたが、此處でも英國官憲から壓迫せられ遂に印度に渡り又上海に醫師を開業する彼の實弟カール・ハルツを頼りて來滬するに至つた。と言ふ數寄の運命に弄ばれた人である。

【36】ジー・フーパー　Charles G. Hooper

住　宅　上海共同租界アベニュー路一二二〇號

職　業　化學工藝技師

公　職　上海留美同學會幹事

米國生れ猶太にて兩親は英國の富豪 Ballard 一族にてニューヨルク市に住す。



ジー・フーパー

妻女はアンダソン・マイヤー氏の娘にて毎年日本に避暑す。
フーバー氏はニューヨルク市に生れ、ミルオキー大學卒業後陸軍に入り豫備大尉の肩書を有す。彼の兩親は英國猶太にて倫敦の富豪バラード家の一族である。現在彼は上海四川路二二〇號の英商倫昌漂洗刷花有限公司（英文名 China Printing & Finishing Co. Ltd.）の染色技師を勤め、同社の重役（倫敦に住す）たるJ. Ballord B.S.O. 氏の親類縁故あり信任を受けて居る。妻女は愼昌洋行マイヤー氏の息女にて長男ケンネスは米本國にて教育を受けて居る。
公職として支那人關係方面では上海留美同學會の幹事を勤め米國學校出身の中國人留學生の世話を燒いて居る。同會會長は米國の上海司法領事、副會長は顏福慶博士にて米國側幹事としてフーバー氏、バツトリツチ氏の二人が選ばれて居る。

【37】ローバート・ハツス博士 Robert Haas (Head of League of Nations Section Communication)

寫眞は故ハツス博士
博士は一九三二年リツトン卿の秘書として支那滿洲日本の視察に隨行し、二度目には經濟開發

合作員となりて聯盟交通委員會より中國に派遣せられ一九三五年任期滿了後歸國して昨年ゼネバに於て病死せり。


ロバート・ハッス博士

【38】ハールマン　M. V. Hermann


ハールマン

住所　エドワード七世路九號

職業　銀行員

勤先　(Finance Banking Corporation Ltd.)

英國籍猶太人にて達商銀行組合事務所に勤む。彼は印度に生れたと聞くが出生地は不明なり。

【39】トラチテンベルグ　Solomon Trachtenberg

住宅　上海佛租界福照路



トラチテンベルグ

職業　自動車販賣外交員

勤先　ビールス・モーター・フエデレーション

米國籍猶太人にて、米國の自動車王フオードの工場に勤め、上海のビールス・モーターにフオード販賣人として派遣せらる。

トラチテンベルグ氏は獨逸系米國籍の猶太人にて、現在ビールス・モーター會社のフオード自動車販賣人として手腕を振ひ居れり。氏は昨年同族のポリアク氏の娘と結婚す。氏の宗派は Beth oboron 寺院に屬す。日本人に好感を持ち又スキヤキを好み夫人同伴にて吳淞路に鋤燒を食しに來る。

【40】バーナード・ヘラー　Bernard Heller



バーナード・ヘラー

住所　共同租界西摩路五五〇號

職業　宗教家

公職　シナゴーク政務委員

　　上海猶太學校教員

アラビアン種猶太人にてバルフオアーヘブライ大學の卒

業生なり。

ヘラー氏はヘブライ大學を卒へ上海オヘル・ラッシ・シナゴーグ勤務講法師として赴任し、西摩路猶太學校の教員を兼職す。又シナゴーグ圖書館管理人たり。

【41】猶太人工部局職員會　Jewess S. M. C. Society



共同租界工部局の中に奉職する猶太人にて職員會を組織して事務書記に專任の婦人を雇ひ會務一切を處理せしめて居る。

職員會々長は現工部局警察副總監 Aiers 氏にて會計主任はメーソン警部である。

上の寫眞は猶太の職員會が年會を催したる光景

下は職員會婦人書記の表彰式





トラチテンベルグ

職　業　自動車販賣外交員

勤　先　ビールス・モーター・フエデレーション

米國籍猶太人にて、米國の自動車王フォードの工場に勤め、上海のビールス・モーターにフォード販賣人として派遣せらる。

トラチテンベルグ氏は獨逸系米國籍の猶太人にて、現在ビールス・モーター會社のフォード自動車販賣人として手腕を振ひ居れり。氏は昨年同族のポリアク氏の娘と結婚す。氏の宗派は Beth oboron 寺院に屬す。日本人に好感を持ち又スキヤキを好み夫人同伴にて吳淞路に鋤燒を食しに來る。

【40】バーナード・ヘラー　Bernard Heller



バーナード・ヘラー

住　所　共同租界西摩路五五〇號

職　業　宗教家

公　職　シナゴーク政務委員

上海猶太學校教員

アラビアン種猶太人にてバルフォアーヘブライ大學の卒

業生なり。

ヘラー氏はヘブライ大學を卒へ上海オヘル・ラッシ・シナゴーグ勤務講法師として赴任し、西摩路猶太學校の教員を兼職す。又シナゴーグ圖書館管理人たり。

【41】猶太人工部局職員會　Jewess S. M. C. Society



共同租界工部局の中に奉職する猶太人にて職員會を組織して事務書記に專任の婦人を雇ひ會務一切を處理せしめて居る。

職員會々長は現工部局警察副總監 Aiers 氏にて會計主任はメーソン警部である。

上の寫眞は猶太の職員會が年會を催したる光景

下は職員會婦人書記の表彰式



職員會は一種の社交的集團にて、毎月月給の幾分かを割きて貯金しパレスタイン復興基金の寄附其他慈善事業寄附をなし表面平凡なる職員會の如く見えるが、其の中には秘密結社があり結社の會合をカムフラージして居ると言はれ、ロッヂは English Constitution Royal Sussex 570 であると言ふ報告があるが内容不明である。

職員會々長エヤース副總監は工部局警察の全權を握り警務區A、B、C、D四區の總元締の職にあり、其の弟はA區の警務主任である。

【42】ジョンス J. R. Jones



ジョンス

住居　佛租界アベニューヘイグ・アパート四號

職業　辯護士

元　共同租界工部局秘書課長

ジョンス氏ハアイリシユ猶太、工部局市參事議長アーノルド氏の寵兒となり議長の職權を代理する事あり。

ジョンス氏は共同租界工部局秘書課長として市參事會議長アーノルド（アーノルド商會主）氏の信任を受け總ての工部局事務を切廻す勢力を振ひ、事務總長フエツセンデン氏の存在は爲めに無用の長物たるの觀を呈せり。然もジョンスは日本人が大嫌ひと言ふ人物にて、辣腕を振つて猶

太資本家の走狗となり、工部局章程は全く蹂躪せられて永年英國の對支侵略牙城たりし工部局の習慣を楯に横暴を極めたり。

其が爲めに英國人の中からも非難せられ排斥を受けて居たが、遂に一九三六年工部局市參事會議長アーノルドの指令を受け日本人の投票三二五票を放棄して英國側候補の絕對多數を策した所、日本側委員に發見せられ、選擧無效再選擧と言ふ珍無類の不正投票詐術を公衆の前に暴露せられ、其の結果日本側委員より辭職を要求せられ遂に彼は依賴免官の隱退を餘儀なくせられた。

【43】ジヨセツフ S. M. Joseph



ジヨセツク

住所　佛租界霞祀路一〇八二號

職業　株式取引所仲買人

代理店　香港株式仲買ジヨセツフ商會上海代理店

シリヤ國ベールート市に生る。

英國籍を有する猶太人なり。

氏は上海に於ける知名の株式仲買商なり。

【44】エレー・カヅリー勳爵士　Sir Elly Kadoorie


エレー・カヅリー

住　宅　大西路六號

店　　九江路二五九號

商　號　Kadoorie and Sons Company.

氏は一八六五年イラク國バグダッド市に生る。父はサイラス・カヅリーと呼ぶ英國籍猶太人なり。

一九一七年英國勳爵士に敍せらる（軍事慈善の功勞により）。國民政府より最高勳章を授けらる。

エチオピア國王より貴族に列せらる。

【45】ローレンス・カズリー　Lawrence Kadoorie


ローレンス・カヅリー

カズリー勳爵士の長男

ローレンス・カヅリー氏

住　宅　大西路六號

【46】ホラス・カヅリー　Horace Kadoorie



ホラス・カヅリー

カヅリー勳爵士の二男

ホラス・カヅリー氏

住　宅　大西路六號

カヅリー勳爵士はイラク國バクグダツド市の商人サイラス・カヅリーの子として一八六五年バクグダツド市郊外クテシオン町に生れ、青年の頃印度支那に移住し又香港に移りE・S・カヅリー商會を經營し金銀地金株式相場土地賣買を營みて今日の資產を作る。

氏の其の金力を近東、極東に伸展し、利益を割きて學校病院を建設し、佛國、支那より授勳し、又エチオピア國王陛下より貴族に列せられ、一九一七年英國政府より貴族に敍せられたり。

現有會社は父子三人にて十七會社を有す。

父
- カヅリー商會　香港上海土地信託
- 支那電燈電力會社　香港上海ホテル會社
- 香港建築商事會社　香港ロープ會社

ローレンス・カヅリー商會　黃埔ドツク會社
長男　香港コンクリート會社　ピーク電車會社
香港釀造有現公司　ジヨセフ商事重役
ハンフレー土地金融會社　レンクロフオード會社
次男　香港九龍埠頭會社　エドガー商會重役
香港電話會社

以上父子三人の事業總本部を上海九江路二五九號に設置して指令して居るが、父は當年七十二歲の高齢に達し、事業は總て長男のローレンスに移讓して自分はセントジヨンス救濟協會副會長或は上海に極東本部を置く猶太民族擁護聯盟常任委員、上海猶太クラブの委員等の名譽職に就任して居る。然し一昨年以來老弱し英京倫敦プリンス街六號別邸に歸つて保養しつつある。

尙カヅリー家の倫敦屋敷には目下エチオピア陛下御滯在中にて、カヅリー氏は御避難中の國王陛下を御氣の毒に思つて自分のプリンス街別邸を提供したのである（昨年六月以來）。

○　イラク總領事ミルフエンデレスキー氏

カヅリー氏は上海にイラク總領事館開設に盡力し初代總領事として A. R. Mirfenderski を昨年十二月一日より迎へたり。

【47】カアウフマン G. S. Kaufman



カアウフマン

住所　佛租界 Rto Voyron 三〇號
勤先　ルーター・ブロツクルマン商會食品部

アメリカン猶太人にて Reuter Brocklmann Co. の食品部主任にてシヤム駐剳アメリカ公使ダビツド・カアウフマン氏の從弟に當る、科學藥品を專攻す。

カアウフマン氏は北米オハヨウ州に生れ、市俄古の應用化學專門學校を卒業し上海魯麟食品公司（Rueter Brocklmann Co.）江蘇路四五二號の科學食品部に就職す。氏は常に同社の廣東シンガポール支店に出張して食料品買込みに就事す。

氏は暹羅國駐剳のアメリカ公使 David J. Kaufman 氏の從弟に當り、上海の會社に就職せるはシヤム公使の秘書官 Harry B. Goldstein の紹介なり。



ダビツト・カアウフマン

寫眞はシヤム駐剳アメリカ公使ダビツド・カアウフマン氏にてジヨウジ・カアウフマンの從兄なり。



ハリー・ゴールドステイン

寫眞はシヤム駐箚アメリカ公使カアウフマンの秘書官ハリー・ゴールドステイン氏にてジョウジ・カアウフマンを上海に就職せしめたる仲介者である。

【48】セエロム・レヴィー Shalom E. Levy



セエロム・レヴィー

住宅　上海佛租界海格路四〇〇號
營業所　共同租界九江路一一三號
商號　合盛洋行
業務　投資金融、信託、一般商事代理店

英國猶太、兄弟あり弟(S・E・レヴィー)は靜安寺路一四五五に別に理維商行を經營す。
共に實業界の覇者なり。

レヴィー氏は上海猶太人商社の壯々たるものにて妻は故エドワード・エズラの娘なり。
兄弟三人あり、兄はS・E、二男はS・H、三男はS・F・レヴィーにて、兄弟三人の綜合事務所を

ミリングトンハウス內に設け三者連絡して商事に專念す。

兄の合盛洋行は金融業、信託業、輸出入、仲立劇場等の外に土地投資會社の株主にて、就中彼の名聲は珈琲王として上海のコヒー販賣を獨占し支那人間には Coffee King と通稱して居る。合盛洋行の外國代理店次の如し。

1. White Weld Co. New York
2. Tames & Bennet Co. Chicago
3. Oswold Drinkwater Co. Mountreal
4. Lewis & Poat Co. London
5. Ray S. Davis Co. Tientin
6. Ellis & Edger Co. Hongkong
7. Langer Co. London
8. Baldwin & Heap Co. Ltd. England
9. Dupont Co. Ltd. U. S. A.
10. Saechsische Kuopf-und Buersten-Maschinen Werle（獨逸）
11. Trao Faiacher Eisen-und Stahlweke（墺太利）
12. Hilaturas Casablancas（西班牙）

合盛洋行支店出張所

支店	香港	出張所	倫敦、桑港

合盛洋行の出資者（合資）氏名次の如し。

1. V. D. Gansberg	海格路四〇〇號
2. Ellis F. S.	海格路四〇〇號
3. Ellis E. L.	海格路四〇〇號
4. G. T. Yuan	靜安寺路二三九號
5. C. V. Starr	黄浦灘路千七號
6. J. O. Pothunt	大西路一五七號
7. W. N. Welcs-Henderson	愛文義路一二二〇號
8. R. Coplman	海格路四〇〇號
9. R. H. Chapman	霞非路一九〇四號

レヴイー氏の享樂方面の營業

佛租界にダンスホール	二ヶ所
英租界に　同	一ヶ所
西區エキステンション　喫茶店	一ヶ所

北區四川路アイシス映畫館
北區四川路虬江路ビーナスダンスホール
楊樹浦提籃橋附近にカフエー店

（以上七ケ所）

合盛洋行は一般商事は勿論カフエー、ダンスホール、喫茶店迄經營し、惡辣なる商策を弄して金の權化の如き猶太性格を露骨に現し、然も勢力絶倫なる彼等四六時中營業個所を巡回し北四川路虬江路のビーナスホールに迄深更營業狀態を視察に來る外各所の喫茶店に入りてカフエーを試食して廻る等普通の及ばざる熱心振りである。

然し宗教事業に對する寄附金は惜みなく獻金し、シナゴーグの財務委員其他パレスチナ復興基金募集委員となり彼自身の獻金も少なく無い。而して彼は斯の如く諸々の商買を營み又實力を有するに拘らず、支那官邊方面との交渉を持たず、建設材料、化學藥品店の代理店を置くも決して自ら支那側と取引せず販賣店を通じてのみ納入する堅實味を持つて居る。

レヴイー氏の宗派はオーヘル・レアーシナゴーグである。

【49】アレツキス・ライオンス　Alex Lyons

所　屬　（League of Nations section on Communication and Transit）



アレツキス・ライオンス

國際聯盟交通委員會特派中國鐵道交通技術合作員として一九三二年來支せる鐵道技師にて英國籍猶太人なり氏の職籍は英國の大西鐵道會社工務管理局にあり。

〔50〕ラウフォード L. H. Lowford



ラウフォード

上海稅關總稅務司

昭和十二年四月二十一日新任

英國猶太、前任上海の稅關長ボール・ブレンゼンの後任として本年四月二十一日就任す。

〔51〕メヤー R. V. Meyer

住宅　上海六三 Verdun Terr

店　南京路五十二號
職業　眼鏡及貴金屬商



メヤー

アメリカン　ジユウ
寫眞はメヤー氏夫人と息子
夫人は日本が大好きだと云ふ。
メヤー氏はロシヤ系米國猶太人にて南京路に眼鏡商明昌洋行を經營す（店は猶太人トビアス氏と合資にて經營す）
メヤー氏は猶太人に特有の策謀術數がなく只商賣熱心に營業し大くの日本人得意先を有す。
夫人は毎年日本に避暑旅行をなし大の日本好きにて自宅には日本庭園を作つて喜んで居る、外に時々日本着を愛用し寫眞を撮つて知人に配布して居る、夫婦共に親日的猶太人なり。

【52】ミラー博士　H. W. Miller

住宅　上海共同租界甯國路五〇三號
職業　大學教授
學校　セント・ジヨンス大學醫學部
氏は米國猶太人にて醫學博士



ミラー博士

北米合衆國カリホルニヤ州のオークランドに生る。

氏の長男はメアランド軍港附海軍少佐なり。

醫學博士ミラー氏は米國籍猶太人にて、現在米國キリスト教會經營のセントジョンス大學醫學部の教授なり。氏は政治思想に富み、曾つて米國に於て發行せられたる「猶太人の秘密」と題する書籍は著者 Author の匿名にてミラー氏が執筆せるものであると聞く。

出身校は American Medical Missionary College である。ミラー博士の醫院囑託次の如し。

Bnai Brith Polyclinic Hospital（佛租界）

Ste Marie Hospital（佛租界）

【53】ニッシム神學博士　Edward Nissim

住宅　上海佛租界華勛路二〇號

職業　教會監督

副業　北京路二號に兄弟合資の輸入商を營む。

英國猶太人サウサムプトン市に生れ、同市神學校卒業後倫敦に出てオックスフォード哲學科



ニツシム博士

に學ぶ（日本佛教の研究者なり）

ニツシム博士は上海オーヘル・ラセル教會委員會の招聘を受け教會監督として一千九百二十四年來滬す。

翌年佛教研究視察の爲め渡日し田中智學、林權助、小谷部博士、美濃部博士、林伯等と會見した事あり文章家にしてエスラエル・メッセンヂヤー誌に「猶太に與ふる敎書」「猶太精神」等を寄稿して民族團結を說き同族の爲めに氣勢を擧げ居れり、同族人の言によればニツシム氏は秘密結社 Bnai Brith の有力會員であると。

ニツシム博士は本職の外に幾多の公職を有す。

上海ユデア俱樂部の名譽會長
上海ユデヤフエデレーシヨン俱樂部役員
上海マツカビアン俱樂部役員
上海猶太改進協會役員
猶太復興基金管理會委員
アングロ猶太協會會員

等々を兼職す。

商賣方面に於ては兄弟三人の中弟二人は商業に從事し、次弟フレッド・ニッシムは共同租界江蘇路二七八號に義生地産公司を營み、三人目の弟 N. M. Nissim と三人兄弟合資會社を經營する外に天倫有限公司（北京路二號）に關係する等各方面に活動す。又彼の一族の Nissim S. Tawil は神戸に於て對支、對エジプト、對パレスタインの貿易商を營み居る等ニッシムの名は上海に於て著名である。


ニツシム・エス・タウル

寫眞はエドワード・ニッシムの親戚にて神戸に貿易商を經營しつつある Nissim S. Tawil

○ ニッシム氏の日本に對する感情

一九三四年四月エスラエル・メッセンヂャー誌に掲載せる文章を要譯するに次の如き事を述べて居る。

「吾々猶太民族は日本の大亞細亞主義に鳴動するを惜しむものでない。日本の亞細亞主義が東亞和平の建設を理想とするならば吾々はこの運動扶助によりて民族復興運動の效果を上げる事を切望する。

而して極東猶太は日本朝野人士が猶太民族に對して抱く誤認を是正して意見の交換を行ふ機會の到來する事を希望する。吾人の最も遺憾に思ふ點は日本人の猶太人に對する政治的なる宣傳が

全部陰謀なりと誤解しつつ事である。

極東文化の源泉は東洋に發生し而して東洋に於て實を結んだ。この東洋文化に歐洲文化を聯合せしめる事は吾人の宿命であると信じて居る。

最近三十年間に日本は社會に文化に政治に著しき進歩を遂げた。現在日本は東洋の盟主たるは拒み得ない實力である。この長足の進歩は世界を瞠睹せしめ亞細亞及亞細亞人の概念を根本的に覆し、世界人の前に歩武堂々たる偉大なる將來への行軍を開始した。

吾人は密かに想ふ、近世印度の聖人タゴールは十年前に「亞細亞は團結して立ち歐洲文化を啓蒙同化すべきである」と叫び氣焰を擧げて居る。キプリンは「東は東、西は西、相會ふ由もなかるべし」と詠じて居る。が現今では東西兩洋の融合點を見出す事は決して難事でない。

黄色人種は白色人を白眼視し、白色人種は黄色人を冷眼視する。之は直に謎であり了解に苦しむ所である。

余は曾つて渡日し、小谷部博士、美濃部博士又杉村陽太郎氏等と會談して「イスラエルの自由と生存闘爭は決して味方のものなきに非ず」と云ふ歷然たる確信を得たと共に日本精神を知る事を得たが、將來日本は吾民族を排斥し敵視する或る國家と親善融和を結ぶの結果、日本の猶太民族に對する立場は轉換するであらう事を杞憂する」下略

附　記

「猶太の極東經濟建國政策は極東の覇者日本との結合により日本の實力を背景に彼等の投資を安全になし日本の動向を敏活に利用する事に於て總ての猶太工作を促進せしめやうとするものであらう」

【54】ポール・エミル・ナザール　M. Poul Emil Naggair


ポール・エミル・ナザール

ナザール氏は支那駐箚佛蘭西特命全權大使として初代大使を勤め、支那に赴任以來公私多忙の身を惜まず能く上海猶太居留民の福利公益事業に盡され、同族民は氏の支那にある事を大なる誇りとして新聞に又雜誌に讃美の言葉を盡して居る。

氏は上海猶太自治協會の顧問に就任し又猶太女子靑年隊猶太少年ボーイスカウト、猶太少年音樂隊を組織する等幾


上海猶太ボーイスカウト

多の公益事業に盡し同族發展の推護工作に暇がない。
寫眞は上海猶太人ボーイスカウト隊全員の記念撮影なり。



上海猶太ボーイスカウト

【55】ジユリアン・ネーサン　Jullian Nathan



ジユリアンネーサン

佛蘭西國籍猶太人にて佛蘭西の休職陸軍少佐

ネーサン氏は佛籍猶太人、共同租界大同路三號に住し株式取引及仲買商を營む。

氏は上海 Bnai Brith の財務委員にて猶太人の Aut Oze 委員を兼ね、又慈善事業に熱心なる人である。

【56】ペ ト リ R. Petri



ペトリー

住　所　アスターハウス旅館內
勤　先　孔士洋行 (Kunst Albers)
職　業　武器賣込外交員

獨逸猶太人にてデッザウ市に生れ、機械工業の學校を修め Raechling Buderus steel 會社より上海に派遣さる。

ペトリーはデッザウ市工業學校修業後直ちに Raechling Buderus steel work 會社に就職し會社より同社の支那代理店孔士洋行 Kunst and Albert 商會に派遣せられて來る。商會の中にあつては中國軍部方面に武器賣込の外交を專門に働いて居る外金物部の賣込販賣を外交し、若年ながら凄腕の外交術を有す。活動家で下宿はアスターハウスである。

【57】オースランダー H. Auslander

住所及
營業所　北京路八十三號
營　業　金融業及び輸入業



オースランダー

アラブ猶太人にて英國籍。

金融業を營む、金融の性質は貿易資金の短期貸附け三ケ月以内の支拂契約である。

オースランダー氏の金融條件は貿易資金の短期貸附けにて、中小商工業者の輸入品船貨證券に對する短期貸附けを行ひ、銀行取引又は資本金無き商店の利便を計り、稅關の稅金、船貨陸揚げの立替金にて利息を稼ぐ特種的金貸業である。

【58】ペイサホフ博士　Dr. A. M. Peisohoff



ペイサホフ博士

住宅　上海共同租界靜安寺路七七〇號

職業　醫師

出身　トムスク醫科大學校

露西亞猶太人にて佛蘭西國籍を有す。

共同租界警察部の要視察人にて蘇聯上海總領事スピルボオネフと親交あり。

ペイサホフ醫學博士は露西亞猶太人にて一九一〇年トムスク醫科大學を卒業し皮膚病專門家に

て醫界の權威を以て自他共に許されて居る。現在共同租界靜安寺路七七〇號に醫院を開業して居るが、Bnai Brith Polyclinic Hospital に於て患者に無料施術を行つて醫學の研究に熱心であるが、租界警察部は注意人物として監視して居る。理由は政治結社員であると云ふにある。

調査の報告に依れば

博士は上海蘇聯總領事スピルヴオネフ氏と親交あり又蘇聯の國際旅行社（四川路六四〇）セリヨーギン等と交際あり、同醫院の材料を納入する中國人蔣保釐は協昌來記公司經營者であるが（店は鄭家木橋街にある）兼て蘇聯食糧輸出組合聯合會（北京路二〇號）と密接關係ある人間にて、從つてベイサコフ博士の思想的動向は赤色方面と關係あるものの如し。

【59】ラムプキン夫人　Mrs. S. F. Rampkin

住　所　共同租界西摩路一七三號（アパート三十一號室）
營業所と商號　九江路一九〇號　Peacaks and Cheak Co.

英國籍猶太人婦人にてS・F・ラムプキン氏の妻女なり。彼女の姉はアンナ・ジユリアン・ラムプキンと稱し小谷部博士の夫人となる。

ラムプキン夫人はS・F・ラムプキン氏の妻女にして、彼女の姉妹三人あり。一番姉のアンナ・ラムプキンは日本の猶太研究者小谷部博士と結婚して居る。



ラムブキン夫人

（寫眞は小谷部博士夫婦）

上海の夫人は次の妹にて、主人は九江路に小さな商店を開き諸製造品の取次販賣並に商談仲立人を營み財政的には惠まれて居ない夫婦である。店はラムブキン氏の外に一人の支那人を使つて居るに過ぎず。

夫人ラムブキンは自分の姉が日本人と結婚して居る事を秘密にして居るが、理由は彼等の社會から嘲笑を買ふ事を恐れて居るが故である、のみならず姉のアンナが小谷部と云ふ異教徒と異人種と結婚して居る事を自分達の信仰の上から非道徳であると解釋し、其れが公開せらるる事を恐れて居るが爲めである。上海の猶太人仲間に於ても其の關係を知るもの小範圍にて、故エズラは記者に其の事情を語つた事がある。

尚小谷部博士夫人アンナ・ラムブキンは小谷部氏の猶太研究による「日本の祖先は猶太である」と云ふ日本古事記を英譯してニユーヨルク市の書店から發行したが、題名は「日本及日本人の起源」と云ふ "The Origin of Japan and Japanese" である。

右の著書に就て上海猶太協會は小谷部博士夫妻に叮嚀なる謝狀を贈呈したが、同協會の宣傳委員であつた故 N・E・B・エズラは特に氏と懇親の仲であつて東京に於て會見した事もある。

て醫界の權威を以て自他共に許されて居る。現在共同租界靜安寺路七七〇號に醫院を開業して居るが、Bnai Brith Polyclinic Hospital に於て患者に無料施術を行つて醫學の研究に熱心であるが、租界警察部は注意人物として監視して居る。理由は政治結社員であると云ふにある。

調査の報告に依れば

博士は上海蘇聯總領事スピルヴオネフ氏と親交あり又蘇聯の國際旅行社（四川路六四〇）セリヨーギン等と交際あり、同醫院の材料を納入する中國人蔣保釐は協昌來記公司經營者であるが（店は鄭家木橋街にある）兼て蘇聯食糧輸出組合聯合會（北京路二〇號）と密接關係ある人間にて、従つてペイサコフ博士の思想的動向は赤色方面と關係あるものの如し。

【59】ラムプキン夫人 Mrs. S. F. Rampkin

住所　共同租界西摩路一七三號（アパート三十一號室）

營業所と商號　九江路一九〇號 Peacaks and Cheak Co.

英國籍猶太人婦人にてS・F・ラムプキン氏の妻女なり。彼女の姉はアンナ・ジユリアン・ラムプキンと稱し小谷部博士の夫人となる。

ラムプキン夫人はS・F・ラムプキン氏の妻女にして、彼女の姉妹三人あり。一番姉のアンナ・ラムプキンは日本の猶太研究者小谷部博士と結婚して居る。



ラムプキン夫人

（寫眞は小谷部博士夫婦）

上海の夫人は次の妹にて、主人は九江路に小さな商店を開き諸製造品の取次販賣並に商談仲立人を營み財政的には惠まれて居ない夫婦である。店はラムプキン氏の外に一人の支那人を使つて居るに過ぎず。

夫人ラムプキンは自分の姉が日本人と結婚して居る事を秘密にして居るが、理由は彼等の社會から嘲笑を買ふ事を恐れて居るが故である、のみならず姉のアンナが小谷部と云ふ異教徒と異人種と結婚して居る事を自分達の信仰の上から非道徳であると解釋し、其れが公開せらるる事を恐れて居るが爲めである。上海の猶太人仲間に於ても其の關係を知るもの小範圍にて、故エズラは記者に其の事情を語つた事がある。

尚小谷部博士夫人アンナ・ラムプキンは小谷部氏の猶太研究による「日本の祖先は猶太である」と云ふ日本古事記を英譯してニユーヨルク市の書店から發行したが、題名は「日本及日本人の起源」と云ふ "The Origin of Japan and Japanese" である。

右の著書に就て上海猶太協會は小谷部博士夫妻に叮嚀なる謝狀を贈呈したが、同協會の宣傳委員であつた故N・E・B・エズラは特に氏と懇親の仲であつて東京に於て會見した事もある。

【60】ユウゲン・ロザリオ　Eugen Rozario



ユウゲン・ロザリオ

居　所　不　明

勤　先　アーノルド商會電信課

別　名　ヤコブ・ロザ

英國籍猶太人、兄弟あり、兄は香港上海銀行に勤む。

ロザリオは競馬界に於てヤコブ・ロザの別名を通稱して居る。

國際間諜の疑ひあり。

別名ヤコブ・ロザはサッスーン系統アーノルド商會電信課に勤務し競馬狂である。アノールド氏は自身が競馬狂である爲ロザに馬小屋監督を命じ居るのみならず香港競馬等にはロザを出張せしめて電報を打たせ上海の競馬紳士の賭博を開帳して居る。

ロザ事ロザリオは同じ競馬仲間のコリンス（米國總領事館副領事勤務書記生）と親交あり、其の關係から米國總領事館のスパイを勤めて居ると云はるが、又英國當局と工部局のスパイであると云はれて居るから、兩道を掛けて金儲けを働いて居る國際的諜者の如き人物である。

ロザリオの親密に交際する競馬關係の者は、博勞商マルドホビッチの下に集まる調教師ポポック、チョイノフ、ソコロフ等のロシヤ人にて、親方マルドホビッチは滿洲蒙古馬の取引を營業し、

附帶任務として博勞を諸所に派遣して滿洲國情調査をなしつつあり。

【61】ロバートソン夫人　Madam Robertson


ロバートソン夫人

住所　上海大西路トエグアパート内
職業　不明（支那藝術研究者と稱す）
公職　猶太民族擁護聯盟書記
　ロバートソン夫人
　出生地　種族不明
　國際スパイの疑ひあり

ロバートソン夫人は大西路トエグアパート内に居住するも、彼女の職業不明なり。又彼女の生活費の出所も不明である。本人は中國藝術を研究すると稱し南京方面から地方旅行をするが、行動は頗る疑はしきものあり、國際スパイであらう。

彼女の身柄其の他に關し猶太人は語るを欲しないが、何か猶太の特種機關の任務を有するものの如く、公職としては猶太民族の擁護を目的とする聯盟の書記を勤めて居る。

（聯盟は猶太人間各派各宗を問はず猶太人は加入して同族生活の利益向上を擁護する團體であつて、獨逸の反猶に對抗する運動はこの團體が先鋒である。）

【60】ユウゲン・ロザリオ　Eugen Rozario


ユウゲン・ロザリオ

居所　不明
勤先　アーノルド商會電信課
別名　ヤコブ・ロザ

英國籍猶太人、兄弟あり、兄は香港上海銀行に勤む。

ロザリオは競馬界に於てヤコブ・ロザの別名を通稱して居る。

國際間諜の疑ひあり。

別名ヤコブ・ロザはサッスーン系統アーノルド商會電信課に勤務し競馬狂である。アノールド氏は自身が競馬狂である爲ロザに馬小屋監督を命じ居るのみならず香港競馬等にはロザを出張せしめて電報を打たせ上海の競馬紳士の賭縛を開帳して居る。

ロザ事ロザリオは同じ競馬仲間のコリンス（米國總領事館副領事勤務書記生）と親交あり、其の關係から米國總領事館のスパイを勤めて居ると云はるが、又英國當局と工部局のスパイであると云はれて居るから、兩道を掛けて金儲けを働いて居る國際的諜者の如き人物である。

ロザリオの親密に交際する競馬關係の者は、博勞商マルドホビッチの下に集まる調教師ポポック、チョイノフ、ソコロフ等のロシヤ人にて、親方マルドホビッチは滿洲蒙古馬の取引を營業し、

附帯任務として博勞を諸所に派遣して滿洲國情調査をなしつつあり。

【61】ロバートソン夫人　Madam Robertson



ロバートソン夫人

住所　上海大西路トエグアパート内

職業　不明（支那藝術研究者と稱す）

公職　猶太民族擁護聯盟書記

ロバートソン夫人

出生地　種族不明

國際スパイの疑ひあり

ロバートソン夫人は大西路トエグアパート内に居住するも、彼女の職業不明なり。又彼女の生活費の出所も不明である。本人は中國藝術を研究すると稱し南京方面から地方旅行をするが、行動は頗る疑はしきものあり、國際スパイであらう。

彼女の身柄其の他に關し猶太人は語るを欲しないが、何か猶太の特種機關の任務を有するものの如く、公職としては猶太民族の擁護を目的とする聯盟の書記を勤めて居る。

（聯盟は猶太人間各派各宗を問はず猶太人は加入して同族生活の利益向上を擁護する團體であつて、獨逸の反猶に對抗する運動はこの團體が先鋒である。）

夫人は美貌の持主にて美人を種に外國の機關に接近して國際的スパイを働いて居る形跡あり、露語、佛蘭西語に精通し人に教へて居た事があると云はれて居るが、警戒を要する女性である。

【62】レイス・ロッス Sir Fredrick Leith-Ross



レイス・ロッス

寫眞はビクター・サッスーン卿のレイス・ロッス卿送別會に於ける夫妻である。

ロッスに就ては記事省略す。

【63】ビクター・サッスーン卿 Sir Victor Sassoon

住　宅　南京路一號サッスーンビルデング内

營業所　右　同

別宅　共同租界西區大西路

英國猶太人、一八八三年英國ヨークシヤに生る。殖民事業に功あり英國貴族に列せらる。

ビクター・サツスーン氏は英國ヨークシヤ市の猶太富豪（アフリカ殖民地の成功者）マイヤース・サツスーン氏の子にして、彼の母はエー・レヴイー氏の娘である。（妹娘はエ・エム・ガツベー氏と結婚す）ビクター・サツスーン氏の妻はエ・エム・ガツベー氏の娘にて一九一一年香港の實業家レイモンドの媒介にて猶太教オヘル・レアー寺院に於て結婚式を擧げたり。如斯き同族近親結婚は猶太人が異敎徒との結婚を忌避する爲めにて、殊に上層富豪階級に於て同族結婚の故に皆姻戚關係にある。



ビクター・サツスーン

ビクター・サツスーンは香港の巨豪 Raymond 家、印度の富豪 Cohen 家、上海 E. D. Sassoon 等皆姻戚關係にあり、從つて事業も資本も皆彼等の Corporation から出て居る。

ビクター・サツスーンは千九百三十年印度の事業と資本を回收して本據を上海に移動し來り、南京路の入口に立つ高樓サツスーンハウスは實に彼等の策動本部である。

ビクター・サツスーンは印度香港に事業を營むと同時に上海に於ても早くより土地賣買、金銀地金、信託、輸出入商、金融業を營み、其等の事業は David Sassoon & Co. 名儀にて營業し

夫人は美貌の持主にて美人を種に外國の機關に接近して國際的スパイを働いて居る形跡あり、露語、佛蘭西語に精通し人に教へて居た事があると云はれて居るが、警戒を要する女性である。

【62】レイス・ロッツス　Sir Fredrick Leith-Ross



レイス・ロッツス

寫眞はビクター・サッスーン卿のレイス・ロッツス卿送別會に於ける夫妻である。

ロッツスに就ては記事省略す。

【63】ビクター・サッスーン卿　Sir Victor Sassoon

住宅　南京路一號サッスーンビルデング內

營業所　右　同

別宅　共同租界西區大西路

英國猶太人、一八八三年英國に生る。殖民事業に功あり英國貴族に列せらる。

ビクター・サッスーン氏は英國ヨークシヤ市の猶太富豪（アフリカ殖民地の成功者）マイヤース・サッスーン氏の子にして、彼の母はエー・レヴイー氏の娘である（妹娘はエ・エム・ガッペー氏と結婚す）ビクター・サッスーン氏の妻はエ・エム・ガッペー氏の娘にて一九一一年香港の實業家レイモンドの媒介にて猶太教オヘル・レアー寺院に於て結婚式を擧げたり。如斯き同族近親結婚は猶太人が異教徒との結婚を忌避する爲めにて、殊に上層富豪階級に於て同族結婚の故に皆姻戚關係にある。



ビクター・サッスーン

ビクター・サッスーンは香港の巨豪 Raymond 家、印度の富豪 Cohen 家、上海 E. D. Sassoon 等皆姻戚關係にあり、從つて事業も資本も皆彼等の Corporation から出て居る。

ビクター・サッスーンは千九百三十年印度の事業と資本を回收して本據を上海に移動し來り、南京路の入口に立つ高樓サッスーンハウスは實に彼等の策動本部である。

ビクター・サッスーンは印度香港に事業を營むと同時に上海に於ても早くより土地賣買、金銀地金、信託、輸出入商、金融業を營み、其等の事業は David Sassoon & Co. 名儀にて營業し

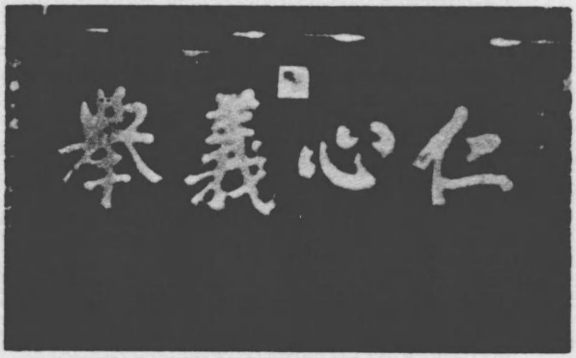
來りたるが、千九百三十年事業本部を上海に移動し來ると同時に別個にSassoon Banking Corporation を創設し、E. D. Sassoon Co. David Sassoon Co. と共に三大サッスーン會社を統制下に置きて資本總額三十億弗を擁して各種の事業に從事す。其の陣容次の如し。

（一）サッスーン　バンキング　コポレーション

（二）ダビット・サッスーン　コムパニー　リミテッド

（三）イー・デー・サッスーン　コムパニー　リミテッド

【64】（1） Sassoon Banking Corporation Ltd.



金融組合にて、中國政府建設事業或は印度香港新嘉坡南洋其他の銀行取引關係を營業範圍に置き、國際取引機關として英米財閥と連絡す、中國の貨幣改革、銀地金取引、中國建設事業に對する貸款、中國公債割引、中國農工商投資或は對支輸出信用保證局の肩替り等を引受け、中國を金縛りにして搾取せんとする猶太財閥の參謀本部である。

寫眞は國民政府がサッスーンの財政的援助に感謝を表せる蔣介石の贈り物である。

この策動本部の元締はE・D・サッスーン翁にて、事實上の取

引はビクター・サッスーン氏の掌中に行はれ、總てを代表する人物である。

代表者	ビクター・サッスーン	Victor Sassoon
總支配人	デビイー	F. R. Davey
支配人	マックエワン	A. K. MacEwan
支配人	ミーゲル	C. J. Meager
支配人	パラモル	A. L. PaRamor
支配人	オヴアデア	L. Ovadea
秘書長	イジケール	J. H. Ezikiel
副支配人	スミス・ライト	E. G. Smith Wright
會計主任	ブライデン	W. A. Bryden
社員	イゼリングトン	J. B. Etherington
〃	ブロキザップ	I. S. Broxup
〃	ランバード	W. R. Lambert
〃	ピーアソン	W. P. Peason
〃	インネス	D. C. Innes
〃	グレゴリー	N. S. Gregory

社員	ジヨセツフ	R. Joseph
〃	スミス	F. E. Smith
〃	ウイルソン	J. B. Wilson
〃	コーヘン	A. S. Cohen
〃	カスター	A. S. Casta
〃	ヤコブ	M. Jacob
〃	ウイリアムソン	H. Williamson (Miss)
〃	チースマン	J. M. Cheesman (Mrs.)
〃	スミス	B. E. Smith (Miss)
〃	ブロツク	E. W. Block (Miss)
〃	ソロモン	R. Solomon (Miss)
〃	スミス	B. Smith (Miss)

【65】(二) David Sassoon Co.

本社は九江路二五九號に事務所を有し、サッスーン財閥の上海市内に於ける不動産を管理す。社務は主としてレビイス、ベンジヤミンの二人が擔當して居る。

上海に於ける洋式借家は英租界、虹口、楊樹浦方面の大部分を所有し、アルガー商會等は其の

傍系代理店である。其の不動産は十五億元に上ると稱せられ、土地部銀行部對外國際銀行部併せて三十億弗の財産を有す。

營業所　江西路二五九號

總支配人　ダビット・サッスーン　David Sassoon
副支配人　レヴィス　L. A. Levis
社　　員　ヤコブ　S. O. Jacob
〃　カールソン　H. L. Carson
〃　コーヘン　S. S. Cohen
〃　ベンヂヤミン　S. Benjamin
〃　エーマンデル　S. F. Eamander

（以上土地賣買、貸家、信託部）

【66】(三)　E. D. Sassoon & Co. Ltd.

サッスーン商會は、(一)は國際金融投資を主なとし、(二)はサ團の不動産管理を主とし、(三)は即ちサ團の極東に於ける彼等の各種事業を統轄する本部である。(一)(二)共に「アンクル・サッスーン」E. D. Sassoon 翁が總大將で、副將格にビクター・サッスーンが活躍して居る。

營業所　サッスーン　コーポレーション同所

營業銀行部

總支配人	イー・デー・サッスーン	E. D. Sassoon
銀行組合員にて支配人	デビー	F. R. Davey
〃	マックエワン	C. K. MacEwan
〃　〃	ミーゲル	C. K. Meager
〃　〃	スミス・ライト	E. G. Smith Wright
財產管理主任	ラムバート	W. R. Lambert
副支配人	オバテア	L. Overdea
會計主任	ブライデン	W. B. Bryden
社員	エザリングトン	J. B. Etherington
〃	トリビユーン	C. Triuburn
〃	バッターリッヂ	G. P. Butteridge
〃	ケンダール	F. Kendall
〃	ステード	I. Stead (Miss)

以上は印度、香港、上海の事業金融部、他に支那人社員二十六名あり。

以上三個の會社はサッスーン財閥の直系機關にして三社併せてサッスーン財閥を構成して居る

のであるが、此等三社から成るサッスーン財閥事業を總括する總本部は英京倫敦プリンス街にありて、ヨークシヤの富豪でサッスーンの總本家であるマイヤース・サッスーン家が總理し、マイヤース・サッスーンの嫡流としてE・D・サッスーン翁（七十四歳）は總元締に任じて居る。



E・D・サッスーン

寫眞は英國ヨークシヤサッスーン本家の嫡流E・D・サッスーン氏。彼はもと佛蘭西にあり帝政ロシヤ時代露都に活動し又アフリカ殖民地にも活動す。

サッスーン財閥は以上三社の外に辨事處を佛蘭西巴里とジュネーブに設置し、巴里は獨露關係の仲繼機關に、ジュネーブは國際聯盟の仲繼に、其の他に米國猶太財閥との交渉は紐育のナショナルシテーバンクを指定して居る。故に上海のサッスーンハウスの機關はサ財閥の極東事業本部と云ふ事になつて居る。其の元締がE・D・サッスーンであり、ビクターは其の副將である。

【67】ソラ・プール Dr. De Sola Pool

住宅　共同租界靜安寺路ジョッキーアパート內

教授　東呉大學法學部

営業銀行部

總支配人	イー・デー・サッスーン	E. D. Sassoon
銀行組合員にて支配人	デビー	F. R. Davey
〃　〃	マックエワン	C. K. MacEwan
〃　〃	ミーゲル	C. K. Meager
〃　〃	スミス・ライト	E. G. Smith Wright
財産管理主任	ラムバート	W. R. Lambert
副支配人	オバテア	L. Overdea
會計主任	ブライデン	W. B. Bryden
社員	エザリングトン	J. B. Etherington
〃	トリビユーン	C. Triuburn
〃	バッターリッヂ	G. P. Butteridge
〃	ケンダール	F. Kendall
〃	ステード	I. Stead (Miss)

以上は印度、香港、上海の事業金融部、他に支那人社員二十六名あり。

以上三個の會社はサッスーン財閥の直系機關にして三社併せてサッスーン財閥を構成して居る

のであるが、此等三社から成るサッスーン財閥事業を總括する總本部は英京倫敦プリンス街にありて、ヨークシヤの富豪でサッスーンの總本家であるマイヤース・サッスーン家が總理し、マイヤース・サッスーンの嫡流としてE・D・サッスーン翁（七十四歳）は總元締に任じて居る。



E・D・サッスーン

寫眞は英國ヨークシヤサッスーン本家の嫡流E・D・サッスーン氏。彼はもと佛蘭西にあり帝政ロシヤ時代露都に活動し又アフリカ殖民地にも活動す。

サッスーン財閥は以上三社の外に辨事處を佛蘭西巴里とジユネーブに設置し、巴里は獨露關係の仲繼機關に、ジユネーブは國際聯盟の仲繼に、其の他に米國猶太財團との交渉は紐育のナショナルシテーバンクを指定して居る。故に上海のサッスーンハウスの機關はサ財團の極東事業本部と云ふ事になつて居る。其の元締がE・D・サッスーンであり、ビクターは其の副將である。

【67】ソラ・プール　Dr. De Sola Pool

住宅　共同租界靜安寺路ジョッキーアパート内

教授　東呉大學法學部



ソラ・ブール

國籍　獨逸

獨逸ケムニッツの生れにて猶太人の法律學者なり。
目下東呉大學法學部の教授たり。

【68】ソコロフ A. A. Sokolloff



ソコロフ

住宅　佛租界 Rtb. Delastre 五四號
勤先　共同租界江西路二六一號
職　　美和洋行會計士

露西亞系猶太人 Fagan 商會に勤む。
氏の經歷其の他不明なり。

【69】サルモン J. E. Salmon

住所　共同租界西摩路一七三號
職業　カヅリー商會支配人



サルモン

英國籍猶太人にてケンブリッヂの卒業生、カヅリー商會の番頭として財産管理をなす。

法律事務所江西路二五九號

カヅリー商會支配人サルモン氏は Elly Kadoorie 勳爵士及び彼の子息 Lawrence Kadoorie (兄) Horace Kadoorie (弟) 等三人共同の金融、信託、金銀地金を商ふ Kadoorie & Sons Co. の營業竝に財産を管理し、別に香港に於て創立せる兄ローレンス・カヅリーのコンクリート製造株式會社の上海代理店其の他幾多猶太資本會社の株券を有する保管事務を取扱つて居る法律家である。

【70】アンゼロ・サンテ Phillip Angelo Sante



アンゼロ・サンテ

住所　佛租界 Rte Massenet 二六號

職業　造船技師

勤務　江申ドック(上海南市)
(Franco-Chinoise de Constructions Metalliques et Meconiques)

・佛蘭西籍猶太人にて巴里の造船專門學校を卒業す。勤先支那名は上海中法求新製造廠。

ヒリップ・アンゼロ・サンテ氏は巴里の造船學校卒業後北米合衆國ノーフォルク港造船所に實地勤務、傍らヴアジニヤ州立工科大學に遊び在學中は猶太學生 Bnai-Brith Hillel Foundation の幹部として同族民間に知られ南區委員に擧げられた事あり。妻女はノーフォルク市の辯護士の娘なり。

【71】ソフエア・トエグ夫人 Mrs. Sophia Toeg

現在上海江申造船所に技師を勤め中佛造船技術協會の委員たり。



ソフエア・トエグ夫人

住所	上海越界路大西路四五號
別邸	共同租界威海衛路七五四號
財產管理事務所	セントラル・アケド十九號
公職	上海サイオニスト協會會長
〃	上海猶太避難民救濟會會長
〃	パレスタイン復興基金管理委員
〃	都益地產公司重役
〃	猶太居留民教育會財務委員

千八百八十五年エルサレムに生る、英國籍猶太人にて財產百萬と稱す。各種の事業に關係し上海同族人間に名望ある貴族型の美貌の持主なり。當年五十二歲。トエグ夫人は幾多の公共團體の幹部に就任する外各種營利會社に投資し土地會社、貿易會社、工場、或は旅館等就中モダンアパートメントを數ヶ所に建築し上海のアパート王と稱せらる。本宅は大西路四十五號トエグアパートの一部にあり。別宅を威海衛路七五四號に有す。外に夫人の財產を管理する總事務所をセントラルアケド十七號十九號に有す。管理事務は全部 Edward Toeg 氏に一任し、夫人自らは關係團體の事業に沒頭す。

夫人は上海のサイオニスト協會を領導し、又一九一七年バルフオア宣言後猶太の祖國パレスタインの復興事業に努力を拂ひ、上海にあつては復興協會復興基金募集委員となりパレスタインー上海を往復する事十回に及ぶ。

一九三三年獨逸に猶太排斥運動勃發し同族人の避難民救濟機關として上海に救濟委員會を組織し、翌年四月夫人は英京倫敦に赴きて獨逸より避難する者の救濟手配を致し二千噸級の伊太利汽船をチャーターして回航せる等活動目覺しきものがあつた。夫人の手に救はれたる避難民は實に八萬人に上ると云はる。

其他支那に對する夫人の救濟事業は顯著なるものありと認められ、民國二十五年の革命二十五週年記念として國民政府は夫人に大型の記念額を贈つて表彰した(猶太人にて之を受けたるもの

ビクター・サッスーン卿とトエグ夫人の二人なり）

註　トエグ夫人の大西路アパート内に共産黨の指令本部が秘設せられて居るとの説あり、蘇聯人が多く居住す。

【72】エムマー・トラチテンベルク孃



エムマー・トラチテンベルク孃

上海住所　佛租界福照路の兄の家

兄　上海ビルスモーター會社フォード自動車販賣員

アメリカ猶太、巴里に在學中書家 Nothan Katz と結婚し、夫妻揃つて支那に繪畫行脚に來り兄の家に滯在中である。

【73】トーマス・タルーフ　Thomas Turooff

住所　共同租界靜安寺路七七八號

勤先　カッセー・コムマーシヤル・コムパニー

行動　國際間諜の疑ひ濃厚なる人物

ポーランド猶太人にて國籍不明、猶太人社會に出入せず、日本語を話す。

タルーフ氏はアーノルド商會系統にあるダブリシマン支配下にある華懋洋行 Cathay Commercial Co. の外交員を勤めあり、日本語を話す猶太人であるが、當人に就ては猶太人間に知られて居ない。世評によれば彼は國籍不明なるもロシヤ語が本國語なる如く從つてロシヤ生れ猶太人ではないかと噂さる。然も彼の容貌は昨年十一月東京警視廳外事課より國外退去處分に附せられたる國際スパイ人物トーマスに酷似し居り、或は日本退去後上海に於て前記の店に勤めて居るものでないかと思はれ素性不明の不審人物である。



トーマス・タルーフ

華懋洋行支配人 Dobrishman はアーノルド資本の傍系にて、主として蘇聯の對支ダンピング品を專賣しつつある外に日本北海道方面の鹽魚を取引すると稱して北海道に旅行した事あり。當時日本當局に於て注意を受けて居た人物である。故に前記トーマス・タルーフは日本を退去せられたる國際間諜と同一人物でないかと思はる。

【74】ウイルゲルミニン　N. A. Wilgelminin

住所　上海佛租界 Rte de Pieyers 二三一號

勤先　上海電力會社

職業　電氣技師

公職　上海白露國際防共聯盟委員

露西亞スヴエルドロフスク市生れ猶太人、現職上海電力會社職員にて Bnai Brith ロシヤ人ロッヂ七一一號の書記なり。



ウイルゲルミニン

ウイルゲルミニン氏は露西亞ウスル山脈金鑛區スヴエルドロフスク市に生る。父は鑛山技師にて革命避難民として來滬す。氏はウフア電氣工業學校に學び學業中途にして追はる。

現職上海電力會社職員（技師）にて同社內に在勤する白系露人職員會の主事を勤めて居る。

氏は白系露人の組織する幾多團體の中に加入せず共が爲めに一部の者より蘇聯派の如く惡ロせられたが、同氏に領導せられて居る電力會社白系職員會の同志とは常に防共問題を中心に討論を續けて來たが、最近奉天に組織せられたる防共委員會或は新京白系露人ファシスト黨等に刺戟せられ、上海支部のダニーロフ・カルガノフ等と談合して上海に有力なる白露人の防共聯盟を組織して日獨防共協定の側面支援運動を起さんとする團體發起人となり、電力會社職員會の V. I. Raojevin Kostronetiuoff of Costor Jain 等を加入せしめ、露西亞亡命委員會の鬪士を指導して具體的行動を計畫し共同租界太沽路四五〇號に發起人會を開いた。

（準備會に出席せるもの次の如し）

（一） N. Daniloff

新京白露人ファッシスト黨上海支部主任にてアーノルド氏經營の上海自動車學校の教頭を勤む。元露西亞陸軍大尉、住所は Tunsin Rd 二〇〇號

（二） V. V. Karmiloff

共同租界工部局衞生課員にて佛租界 Rte Remi 二〇〇號に住す。

（三） V. Vostchenko

佛租界工部局警察部に奉職し佛租界 Rte Remi 二〇〇號に住す。

（四） E. Fretzdorff

佛租界 Rte Mayen 一七一號

（五） C. Misura

パレスホテル內

（六） E. Melnick　　不明

（七） A. Wilgelminin　　上海電力會社內

（八） O. F. Costor Jain　　同上

（九） Kaotronetinoff　　同上

(十) V. I. Raojevin 同上

(以上十名)

調査によれば該聯盟は活動資金の財源を求むる事困難にて何等具體工作は進行して居ないが、右の發起に對し郵務總局技師 Missuro は次の如き感想を述べて居ると猶太人アブラ公商會主は記者に物語つた。

「防共聯盟の組織が事實であるならば人類の幸福である。然し發起者の中には聯蘇方面の人物も混つて居る樣に云はれ反赤露主義に擬裝して防害工作を畫策するものでないかとの疑がある。これは蘇聯が上海の有力なる白露人社會の經濟力發展の將來に對する破壞工作の一部として凡ての露人團體の中に分子を潛入せしめ、其等の潛入者は諜報エゼント乃至は破壞工作者として白露工作の防害を謀つて居る事實があるから、直ちに防共聯盟を信用する事は危險が伴ふであらう。其の中メルニツク、フレツヅドルフ等は可なり噂さのある人物で、又佛租界局警察の Vostchenko 等は赤露諜報者であるとも云はれて居るから、この防共運動の發起は寧ろ逆用される結果に終るものと見て差支へなからう」と。

【75】 マックス・ゼイロンカ Max. Zeilonka

住所 佛租界福履理 Joseph Frelpt 路六號



マツクス・ゼイロンカ

職　業　ブナイ・ブリス極東通信局

マツクス・ゼイロンカ氏は米國籍猶太人にて、千九百三十五年米國紐育ブナイブリス出版本部より上海に派遣せられ極東通信局長となり、機關誌の中國通信及び調査に從事す（フリーメーソン結社員）。

マツクス・ゼイロンカ氏は佛租界福履理路六號に住す。氏の事務所は同所内にあるものと推測せらるが確實なる所は不明である。

氏の任務は米國シンシナチー市に本部を有する米國 Bnai Brith 結社の機關誌ブナイ・ブリス・マガジンの極東局通信員として上海に派遣せられ、通信調査に從事して居るが、本質的任務に就ては不明である。ブナイ・ブリス誌は米國紐育ブナイ・ブリス出版部より月刊にて發行し會員に配布するものであるが、會員外の者は年五十仙（一部五仙）を支拂つて配給を受け得る。上海にも多數取次せられ南京路アメリカンブツクストアーに申込めば配達するが、工部局警察特政課では同誌の內容が赤化思想、政治的陰謀等の記事多く、租界治安の維持上發賣を取締つて居るが、市中には可なり多數の購讀者を有して居る。

ブナイブリス誌は編輯本部がシンシナチーエレクトリツクビルデング第七號にあり、出版部はニユーヨルクになつて居るが實際の出版賣出しは市俄古南クリントン街一一八號から發賣されて

居る。

本誌は一九一二年八月廿四日發刊しシカゴ政廳に登錄され一九一七年第三種郵便物許可を取り一九二〇年に改版一九二四年に第二種郵便物許可を取つて居る百五十頁內外の月刊誌である。

【76】ヤコブ・ジリンスキー　Jacob Zirinsky



ヤコブ・ジリンスキー

住所　共同租界福州路八十九號
營業所　右同
公職　猶太居留民教育委員會委員

英國籍猶太人にて生地はハンガリヤ國のデフレッチン市である。アデンにて英國市民に登記す。

ジリンスキー氏は匈牙利國に生れ幼年にして父と共に英領アデンに移住す。彼は此處にて英國市民權を獲得す。

氏は現在上海福州路に個人經營の紙類輸入販賣店を營み居れり。

氏の長女ジユダは上海猶太中學部を卒業し昨年八月香港に赴き目下香港醫科大學豫科在留中なり。

上海猶太人間に許判の美人でピアニストの天才にて慈善協會の寄附金募集演奏に出演し音樂界

に知名である。

父ジリンスキー氏は猶太居留民教育會の委員にて同族民の教育に盡し上海にヘブリユウ大學を建設すべく奔走中である。

（猶太人は小中學校は上海に於て教育するが決して他の學校に入れない。大學は特別の希望に限り香港大學に入學せしむる外大抵パレスチナに送つて教育する習慣がある。目下同族人間には極東の適當の地に大學を建設して猶太子弟最高教育機關を設立する爲め基金募集中である。候補地は上海かマニラであると。）



ジユダ・ジリンスキ孃

寫眞は香港醫大豫科に勉強中のジユダ・ジリンスキー孃

附録 其一

○英國政府を圍る猶太色彩

首相　ネヴイル・チエンバーレン

ネヴイルの父は猶太人のお蔭で出世をし、其の謝禮として彼は、英國の移民が東阿弗利加に於いて他に自由地を獲得せず、入國に當つては保證金を納めなければならない時代に、東阿弗利加内の貴重なる自由地を猶太人のために提供した。ジヨゼフ・チエンバーレンの叔母は猶太系（アンドレード）であり、彼自身も亦た母系（ハーペン）より猶太の血を受けてゐるものと信じられてゐる。オーステン・チエンバーレン卿は猶太人仲間よりは眞の猶太の戰士として尊敬されてゐる。

國璽卿　ジヨン・シモン卿

一九〇四年に逝去した猶太人ジヨン・サイモン卿と混同し易いが現在のジヨン・サイモン卿は全く猶太の血の混らないアリアン系であると公言してゐる。彼の夫人は、自ら猶太系でないと主張してをりながら、長い間シオニスト運動に關係してゐる。彼女は猶太人の會合で、シオ

ニスト運動に熱心なために『妾はみなさんと同族と見られてゐます』と話した。
猶太人銀行家エル・フランクリン卿（ケーザー商會）と非猶太人の婦人との結婚式（一九三〇年七月八日）にジョン・サイモンはシナゴーグに出席した。ソ聯の大使猶太人マイスキイは一九三五年二月二十二日にサイモン卿のために晩餐會を開いた。ジョン・サイモン卿は毎も猶太人と交友し、彼の顔も猶太的であり、其の點非常に難解である。

樞密院議長　ハリファアックス侯爵

彼の嗣子はロスチャイルドの孫女と結婚した。

尚　書　ヘールシヤム侯爵

彼の弟、マルコルム・ホッグ卿は猶太人のゴンパーツの孫女と結婚した。
侯爵の終身秘書役は猶太人のクロード・シヤスター卿である。

内務卿　サミユル・ホーア卿

クエーカー銀行の家族の一員であり、『第四の封印』の著者である彼は、猶太禍については早くから悟つてゐるのである。然るに彼が其の同僚に猶太禍について語らなかつたのは何故であ

らうか、彼のみぞ知る。

彼の議會書記は猶太銀行ハンボスの頭取の甥ダブリユー・ダブリユー・アスターである。アスターの母は倫敦の猶太銀行ラザードの頭取オノラブル・アル・エチ・ブランドの姑である。

外務卿　アンソニイ・イーデン

イーデンは波蘭系のフランセス・シヤフアルツキイの孫である。彼はロスチヤイルド家とフイリツプ・サツスーン卿と親交がある。

隱匿猶太人モリス・ハンケイの息子は彼の副秘書である。イーデンは二人の議會書記をもつてゐる。一人は猶太人バーナル・オスボルンの孫を娶つてをり、ソ聯の猶太大使マイスキイより恩惠を受けてゐる。

國璽卿　デ・ラ・ワア公

P・E・Pの市場掛に密接な關係を持つてゐる。

自治領卿　マルコルム・マクドナルド

獨身の彼の父ラムゼイは長い間猶太美人ローザ・ローゼンベルグを私的秘書として雇つてゐる。

マクドナルド父子は共に猶太人シッフのP・E・Pに密接な關係を持つてゐる。一九一七年に赤露の例に倣ひ勞働者を困窮せしめたのはラムゼイ・マクドナルドである。

マルコルムの次官はハーチングトン子爵である。子爵はアライアンス保險會社の經營のために猶太人ロスチャイルド及びベアステッドと關係した人物である。其の上、子爵はスコットランド系のフリー・メーソン結社員であり、一九三六年に猶太財團の資金に依つて開催された博覽會の行政委員の一人であつた。

印度ビルマ大臣　ゼットランド子爵

子爵は有力なフリー・メーソンである。彼の夫人は皇帝戴冠式接待宴に當つて猶太女イー・ジユダなるものを紹介した。

彼の次官はスタンリー卿であり、スタンリーの妹はロスチャイルドの子息と結婚した。次官助手は猶太人セシル・キッシユ卿であり、スタンリーの顧問として猶太人エチ・ストラコッシユがゐる。

植民卿　ダブリユー・オームスビイ・ゴーア

熱心なるシオニストである。グランボーン伯爵とハーテイング侯爵夫人との義弟である。此

の全家族は猶太人専横の支配的階級に屬する。

國防大臣　テイ・インスキップ卿

辯護士。帝國國防委員長は隱匿猶太人エム・ハンケイ卿である。卿の曾父は一八一六年に本名アラースからハンケイと改名し、ジャマイカの奴隷所有地の抵當權者であつた。

海軍卿　エー・ダツフ・クーパー

ロシア革命に資金に提供したクーン・ロエブ會社の重役、故オツトー・カーンはクーパーの息子の名附親である。彼の祖母の名はステインと云つた。またクーパーの妹は猶太人のレヴイタと結婚した。

ダツフ・クーパーの議會書記はシツフP・E・Pに熱心なエチ・ダブリユー・ケーアである。

陸軍卿　エル・ホア・ベリシヤ

猶太人。英國と獨逸との關係を考慮しての任命であるから注意を要する。次官はトレーデイング・カンパニイとヘルバート・ワツグ商會との店主の弟のストラスコナ卿である。ヘルバートの本名はイスラエルである。

會計主任はヴイ・ワレンダー卿であり、その私的秘書は猶太人ノイマン家と結婚したアル・ヴイ・グリムストンである。

空相　スウイントン伯爵

彼の財產は結婚に依つて轉げ込んだ。彼の夫人はマシヤム男よりジヨゼフ・メイヤーの財產の一部を相續したのである。

彼はサツスーン家やシオニストの首領故ナホム・ソコロフより恩惠を受けてゐた。次官は長い間フイリツプ・サツスーン卿であつたが、最近エー・ジエー・ムアヘツド中佐と更迭した。

スコツトランド卿　ダブリユー・エリオツト

猶太人モーゼス・シツフのP・E・Pの最初の創立者の一人である。

貿易大臣　オリヴアー・スタンリー

彼の姉はロスチヤイルドの子息と結婚した。一九三三年一月に白耳義から避難したものであると陸軍官憲を騙したアーネスト・シツフをクーン・ロエブのシツフ家の一員であると曝露し

たのはスタンリーである。

彼の議會係次官は親猶家のラテイエンス夫人の娘と結婚したデイ・ユアン・ワレス大尉である。

主席經濟顧問は問題の人猶太人エフ・ダブリユー・リース・ロス卿である。彼は國際金權の支持者である。

議會書記兼鑛山係エフ・シー・クルツクシヤンク大尉はスコツトランド系のフリー・メーソンである。

農漁業大臣　ダブリユー・エス・モリソン

猶太關係の人物。辯護士。

文部卿　スタンホープ公

英國フリー・メーソン大結社前大頭梁の未亡人アムプシル夫人の從兄である。

議會書記は猶太人モーゼス・シツフの秘書と、そのP・E・Pの書記を勤めてゐるケネス・リンドセイである。リンドセイは嘗つて南米エル・ドラドに英人の植民を奬勵した猶太人シユウエルムのヴイクトリア植民會社の書記も勤めたことがある。リンドセイの私的秘書役はテルマ・

ガザレット嬢である。彼女の兄は熱心なシオニストの代議士である。

衛生大臣　キングスレー・ウッド卿

一九三七年二月二十三日マンチエスターに於いて彼は猶太人を以つて最も頼もしき民族と言ひ、英國民は常に此の民族と共存したき希望を述べた。P・E・Pの小賣標準會ではウッド卿は猶太人エフ・マークイス卿を强力支持してゐる。

キングスレー・ウッド卿は自らの聲明を實行する。そのためには議會書記として猶太人アル・エチ・バーネーズ、副書記として猶太人エル・インフイールドを活動さしてゐる。

勞働大臣　イー・ブラウン

ソ聯の大使猶太人マイスキイから恩惠を受けてゐる。彼の主任書記は猶太人のハンバート・ウオルフである。

運輸大臣　イー・エル・バーギン博士

猶太人であるか否かは不明であるが、バーギン或はバーカンは猶太名である。議會書記のエー・ユー・エム・ハドソン大尉は非常に親猶的である。

土木委員長　　フイリツプ・サツスーン卿

猶太人である。母はロスチャイルド家の出身である。

恩給相　　エチ・ラムスボサム

ラムスボサムは猶太女デ・スティンと結婚した。彼の終身秘書アデーア・ホア卿は陸軍卿猶太人ホア・ベリシヤの繼父である。

ランカスター公宰相　　ウインタートン公

一九三五年五月七日下院に於いて彼は彼の祖先に猶太人があつたか何うかは知らぬが、若しあつたとすれば誇らしいと述べた。

遞信大臣　　ジー・シー・トリヨン大佐

彼の顧問として、猶太人で、シオニストの先覺者である貯蓄銀行の取締役エル・シモンを任命してゐる。

—インペリアル・フアシストに依る—

附錄　其二

○米大統領ルーズヴエルトと其の取卷き猶太人達

（一九三七年一月）

最近米國人エドモンドソンに依つて米大統領**ルーズヴエルトの系圖**が發表された。又昨年十月十五日發行リヴイーラー誌にも同樣の發表があつた。之に依つてルーズヴエルトが猶太系である事が明らかにされた。

其れは偖ておいて、**ルーズヴエルトの取卷き**が猶太人で占められてゐる事も衆知の事である。猶太人の團體、猶太人會等に對して祝福の公電を彼が送つて居る事實も廣く知られてゐる。

彼の取卷の中の第一の有力者は米國の事實上の大統領とも云はれる猶太人**バーナド・バラク**である。大戰中にウイルソンは彼を米國經濟の最高獨裁者に任じた。彼はウオール街の立役者である。

次に有力なのかＮＲＡの會長代理であり、獨逸の社會民主黨の創設者ベルゲルの名付け父である猶太人**ドナルド・アル・リッチバーグ**である。次の有力者は墺太利生れの猶太人**フエリックス・フランクフルター**教授である。彼は大統領の首席法律顧問であり、ハヴアド大學に於けるマルキスト教授として令名があり、物價法の創案者である。彼は共產黨關係の「米國市民自由權同盟」

の會員であり、一九二七年には死刑の宣告を受けた猶太共産黨員サッコーとヴァンゼッチとの辯護人であつた。

大統領ルーズヴェルトの右腕は大統領の非公式の顧問たる猶太人**サミユル・ジエー・ローゼンマン**である。

大藏大臣ヘンリイ・モルゲンソウは駐土米大使たりし猶太人ヘンリイ・モルゲンソウの子にして國際銀行家ワーブルグ家とは密接な關係を持ち、國際政治の基調をなす英佛其他との貨幣協定は實にモルゲンソウが主唱者である。駐土大使たりしモルゲンソウの父は獨逸生れである。

大審院判事猶太人**エル・デイー・ブランデイス**も大統領の私的顧問となつてゐる。彼と夫人は共にアーカンザス州のミナ聯邦大學の出資者である。此の大學は共產的傾向を以て知られてゐる。ブランデイスは全世界の猶太人を支配するシオン賢人會の役員になつている。

ブランデイスの娘、**スザンヌ**は紐育州の教育會の會員であり、紐育の共產黨の集會のあるユニオン・スクエーアでも有名である。彼女は此處で數回の演說を試みた。

ルーズヴェルトの其他の取卷きを次に列擧しやう。(**全部猶太人**)

ベンジヤミン・エヌ・カードゾオ

大審院判事、自由公認議員

レーモンド・モーレー教授

嘗てはルーズヴエルトの氣に入り顧問、現在公職より退き雜誌「今日」を發刊、反猶的獨逸政府攻擊に從事。

ハーバト・フアイス

フランクフルター教授の子分、米國國務省内の重要人物。

レックス・ジー・タッグウエル

コロンビア大學教授、マルクス主義者、農務省書記、A・A・A（農業修正案）の創案者、ソ聯の讃美者。

ジエロム・フランク

R・F・C（財政再建委員會）の委員。

モルデカイ・エゼキイル

農相の經濟顧問、前記A・A・A（農業修正案）の共力者。

エドワド・エー・フイリーン

大統領私的顧問、米蘇商業會議所員。

マリナー・エス・エクルス

F・R・B（聯邦準備銀行）頭取

イ・エー・ゴルデンワイザー

ロシア生れ、聯邦準備銀行支配人。

デヴイド・イー・リリーソタル

ブランデスの子分、官營モーター電力工場テネセー・ヴレー・オーソリテイ支配人。

バジル・マンリイ

聯邦電力の社長代理、モルデカイ（マルクス）園ガーランドの會員。

ジヨール・デヴイド・ウオルフソーン

國立電力政策委員會書記長

フランセス・パーキンス孃（事實は某氏夫人）

勞働大臣、特に獨乙より追放された猶太人の就職事務を管理。パーキンス孃自身は猶太系たる事を極力否定しをるも、或時猶太系たるを肯定しエホバに忠實なる事を力說した事がある。

エー・ジエー・アルテンマイヤー

勞働大臣代理。

フランシス・ジヤーコウイチ

勞働大臣代理。

シー・イー・ワイザンスキイ（若）

フランクフルターの子分、勞働省附辯護士。

ウイリアム・シー・バリット

元駐蘇米大使、現に駐佛米大使、大統領顧問、米國の蘇聯承認の蔭に活躍した人物。國際猶太金權委任者として歐洲中を大手を振つて歩ける人物。

ジエッス・ジエー・ストラウス

駐佛米大使（最近死沒）

ローレンス・ステーンハート

駐スウエーデン大使、大統領顧問。

ロバト・フエッチナー

市民豫備軍（C・C・C）隊長

シドニイ・ヒルマン

リトアニア生れ、N・R・A　の會員。

ニユートン・テイー・ベーカー

大統領の私的顧問

ヂエラード・スウオープ

工業問題に對する大統領私的顧問。

レオ・ウオルマン教授

勞働爭議調停委員長、モルデカイ（マルクス）團ガーランド會長。

エーチ・エフ・グゲンハイム

國立航空委員會委員。

ハロルド・エス・イックス

內務省祕書官、「米國市民自由權同盟」の奬勵者にして共產黨員として有名。

ロイド・エヌ・ランドウ

フランクフルターの子分、土木省事務長、元同省首席辯護士。

ヘンリー・テイ・ハント

元シンシナチの市長、マルキストとして有名。一九二七年に死刑を宣告された猶太共產黨員サッコーとヴアンゼツチの辯護人の一人。土木省の現在の首席辯護人。

サミユル・ウンターマイヤー

大統領私的顧問、獨乙商品排斥運動首領、シオン賢人會の會員として有名。

エー・エー・バール

若い此の政治家はブランデイスの子分として大統領の私的顧問を勤めてゐる。「猶太國」の著者である。

ジヨゼフ・ビー・イーストマン

同じくブランデスの子分にして、鐵道布設調整者。

ステフエン・ロースヘンブツシユ

軍需品委員會檢査員、マルキスト傾向の辯護士。

ルイ・テー・カーステイン

相談役の一人。

ウイリアム・エム・ライザーソン

ロシア出身、國立勞働委員會祕書。

ローズ・シユナイダーマン女史

ロシア出身、同じく國立勞働委員會書記、共産黨のシンパ。

エス・エー・ローゼンブラツト

N・R・Aの會員。

イジダー・ルービン

紐育市勞働局統計課長。

ナザン・マーゴルド

フランクフルターの子分、內務省附辯護士、「米國市民自由權同盟」の一員。

アドルフ・ジエー・サバツクス

ボヘミア出身、國會議員。

ヘルマン・ビー・コッペルマン

ロシア出身、國會議員。

ハーバト・エーチ・レーマン

紐育州知事、大統領の親友、國際的猶太金融家とも密接な關係を有つ。

アーヴイン・ステーングツト

紐育州會の論士。

アンヌ・エム・ローゼンバーグ女史

N・R・Aの理事其他兼任。

國際政經學會ノ事業ノ梗概

一、本會ハ猶太問題ニ關スル研究調査、國內竝ニ對外連絡及情報報道ヲ會員ニ行フヲ目的トス

二、本會ハ本會ノ目的ヲ達成スルタメ左ノ事業ヲ行フ

イ、國內及海外ニ於ケル事情ノ研究調査

ロ、國內及海外ノ所要ノ向ト連絡

ハ、研究會、座談會等ノ開催

ニ、機關誌、圖書、册子等ノ刊行

ホ、講演

ヘ、其他本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事項

三、本會ノ經理ハ會費及會員ノ醵金ヲ以テ之ニ充ツ

四、本會ニ入會スルニハ會員ノ紹介アルヲ要ス

昭和十二年十二月十　日印刷
昭和十二年十二月十五日發行

限定版

不許複製

著作印刷兼發行人　東京市麴町區內幸町幸ビル　柳沼七郎

印刷所　東京市京橋區築地四丁目四番地　中屋三間印刷株式會社

發行所　東京市麴町區內幸町幸ビル　國際政經學會
電話銀座一二一八番